

2021 年 1 月分新聞書評



日本史サイエンス～蒙古襲来、秀吉の大返し、戦艦大和の謎に迫る～ (ブルーバックス B-2149)

播田 安弘 著
講談社

文永の役で日本を危機に陥れた蒙古軍は、なぜ一夜で撤退したのか。羽柴秀吉が中国地方から高速で戻った「大返し」はなぜ成功したのか。戦艦大和は無用の長物だったのか。エンジニアが「数字」を駆使して謎に迫る。

2020.9./ 243p
978-4-06-520957-8
本体 ¥1,100〔税込〕



産経新聞 2021/01/09



ハグとナガラ(文春文庫 は 40-5)

原田 マハ 著
文藝春秋

恋も仕事も失い絶望していたハグに、大学時代の親友ナガラから「一緒に旅に出よう」とメールが届いた。以来、季節ごとに旅に出るようになったふたり。気がつけば、四十路になり、五十代も始まり…。女ふたりの6つの旅物語。

2020.10./ 203p
978-4-16-791571-1
本体 ¥627〔税込〕



産経新聞 2021/01/09



いつの空にも星が出ていた

佐藤 多佳子 著
講談社

高校の先生、家業の電気店を継いだ若者、少年野球のピッチャー、洋食店のシェフ。一見つながりのない人たちを結んでいる、強くてまっすぐな気持ち! 熱くてかぎりなく純粋な、人生と応援の物語。『小説現代』掲載を書籍化。

2020.10./ 411p
978-4-06-521203-5
本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/01/10



インディゴをさがして～A Girl Called Indigo～

クララ キヨコ・クマガイ 著
小学館

色を見つけたし、誘いだすことができる、少女インディゴ。噂を聞いた王様がやってきて、理不尽な要求を突きつけると…。人間国宝の染織家・志村ふくみの「藍色」にインスピレーションを得て生まれた物語。

2020.11./ 78p
978-4-09-289306-1
本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/01/10

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2021年1月時点での税込み価格です。



開高健は何をどう読み血肉としたか

菊池 治男 著

河出書房新社

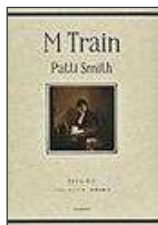
『PLAYBOY』の編集担当として「オーパ!」の旅にも同行した著者は、その後、開高健の本棚整理に当たる。開高がどんな本をどう読んだか、具体的に細かく伝える。本詳細リスト、開高健作品の基礎知識なども掲載。

産経新聞 2021/01/10

2020.11./ 221p

978-4-309-02928-3

本体 ¥2,090〔税込〕



Mトレイン

パティ・スミス 著

河出書房新社

具体的な土地、そこで会った人々。経験したできごと。大切な死者たち、かれらとの思い出。自分が経験してきたさまざまな場所をたどりなおす、心の列車。「ジャスト・キッズ」に続くパティ・スミスの回想録。

産経新聞 2021/01/10

2020.11./ 336p

978-4-309-20811-4

本体 ¥2,860〔税込〕



絶滅危惧個人商店

井上 理津子 著

筑摩書房

個人商店は「町の宝」だ! 食料品、衣類、質屋、銭湯…。チェーン店やアウトレットに負けずに、個人で商売を続ける店を訪ね歩いた記録。店主たちのヒストリーを伝える。『ちくま』連載に加筆・編集して単行本化。

産経新聞 2021/01/10

2020.12./ 223p

978-4-480-81856-0

本体 ¥1,650〔税込〕



美術の森の番人たち

酒井忠康 著

求龍堂

著者・酒井忠康(現世田谷美術館館長)が、56年にも及ぶ美術館での仕事を通じて出逢った、多くの忘れがたき人々。美術界を「美術の森」と呼び、そこで活躍した今は亡き美術の森の番人 35 人との交流を描いたエッセイ集。

産経新聞 2021/01/10

2020.10./ 237p

978-4-7630-2024-6

本体 ¥3,080〔税込〕



産経新聞と朝日新聞

吉田信行 著

産経新聞出版

「極左も極右も排す」真の自由主義を説いた思想家、河合栄治郎。「強い日本」づくりを目指した思想家、福澤諭吉。2 人の遺志が脈々と受け継がれている産経新聞は、だから朝日新聞と闘った-。戦後マスコミの裏面史を綴る。

産経新聞 2021/01/10

2020.12./ 254p

978-4-8191-1393-9

本体 ¥1,540〔税込〕



希望を握りしめて～阪神淡路大震災から 25 年を語りあう～

牧秀一 編

能美舎

阪神淡路大震災発生から高齢者宅への訪問や震災障害者への支援を続けてきた「よろず相談室」が、あの日から 25 年を生きる被災者 18 世帯 26 人の人生をまとめた貴重な証言記録。証言映像を収めた DVD 付き。

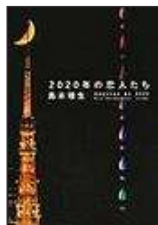
産経新聞 2021/01/10

2020.12./ 504p

978-4-909623-05-8

本体 ¥2,750〔税込〕





2020年の恋人たち

島本 理生 著

中央公論新社

亡くなった母のワインバーを引き継ぐかどうか、選択を迫られる葵。恋人の港、常連客だった幸村、試飲会で知り合った瀬名...めまぐるしく変化する日常と関係性のなかで、葵の心は揺れ動き...『婦人公論』連載を加筆し単行本化。

2020:11./ 292p

978-4-12-005279-8

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/01/10、毎日新聞 2021/01/30



それぞれの山崎正和(別冊アステイオン)

公益財団法人サントリー文化財団・アステイオン編集委員会 編

CCCメディアハウス

劇作家・評論家・思想家として、または政治・行政への助言者として、そして学術・教育・文化活動への貢献者として活躍した山崎正和。その多彩な足跡と業績を、交流のあった60名を越す関係者が振り返る。

2020:12./ 345p

978-4-484-20235-8

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/01/16



ラウンド・ミッドナイト風の言葉

丸山 健二 著

田畑書店

「人の人たる所以とは果たしてなんぞや」などという青臭い呼びかけにいちいち惑わされていたのでは、苛酷に過ぎるこの世を自分好みの形では全うできないだろう。独自の創作活動を続ける丸山健二が紡ぐ言葉。

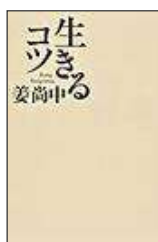
2020:12./ 225p

978-4-8038-0377-8

本体 ¥2,860〔税込〕



産経新聞 2021/01/16



生きるコツ

姜 尚中 著

毎日新聞出版

人生の曲折を経て、私は身の丈の豊かさによって叶えられる平穏な生活があることを発見したのである。どんなプロセスを経て「平穏の文化」にたどり着いたのか、それはどんなものなのかを綴った「後半生」の生き方論。

2020:11./ 205p

978-4-620-32655-9

本体 ¥1,100〔税込〕



産経新聞 2021/01/16、毎日新聞 2021/01/23



TIMELESS 石岡瑛子とその時代

河尻 亨一 著

朝日新聞出版

前田美波里をスターにした資生堂のポスター、大ブームになったパルコの広告。それらを手がけた後に渡米し、アカデミー賞に輝いたデザイナー、石岡瑛子。彼女を「主人公」として物語る、表現者たちとその時代のストーリー。

2020:11./ 541p 図版

32p

978-4-02-251734-0

本体 ¥3,080〔税込〕



産経新聞 2021/01/17



海と山のオムレツ(CREST BOOKS)

カルミネ・アバーテ 著

新潮社

食べることはその土地と生きてゆくこと。南イタリア・カラブリア州出身の作家が、幼少期に食べたオムレツ、婚礼の宴の伝統料理、クリスマスのご馳走など郷土の絶品料理と、家族と土地の記憶を綴る自伝的短篇小説集。

2020:10./ 175p

978-4-10-590168-4

本体 ¥2,090〔税込〕



産経新聞 2021/01/17



佳子さまの素顔～可憐なるプリンセスの知られざるエピソード～

山下 晋司 編
つげ のり子 著
河出書房新社

皇室の中でもアイドルの人気を誇る秋篠宮佳子さま。その人間形成に多大な影響を与えたであろう 7 つの出来事について綿密に取材し、華やぎと美しさに包まれた若きプリンセスの麗しき実像にせまる。

2020.11./ 181p
978-4-309-02924-5
本体 ¥1,815〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 9 2 4 5 *

産経新聞 2021/01/17



阿佐ヶ谷アタリデ大ザケノンダ～文士の町のいまむかし～

青柳 いづみこ 著
平凡社

井伏鱒二、太宰治…。阿佐ヶ谷で育ち、いまも暮らすピアニスト・文筆家の著者が、祖父・青柳瑞穂邸に集い、飲み明かした文士たちの知られざるエピソードや現在の町の魅力を愛情を込めて綴る。『東京新聞』連載を元に書籍化。

2020.10./ 245p
978-4-582-83848-0
本体 ¥2,640〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 2 8 3 8 4 8 0 *

産経新聞 2021/01/17



妻がマルチ商法にハマって家庭崩壊した僕の話。

ズータン 著
ポプラ社

マルチ商法にハマった妻が、突然娘を連れてマルチ商法の上位会員の家で生活をはじめた。著者は、妻に何が起こっていたかを知るため、マルチ商法の情報収集と情報発信を開始し…。note で大反響の壮絶ノンフィクション。

2021.1./ 267p
978-4-591-16842-4
本体 ¥1,650〔税込〕
* 9 7 8 4 5 9 1 1 6 8 4 2 4 *

産経新聞 2021/01/17



景気回復こそが国守り 脱中国、消費税減税で日本再興

田村 秀男 著
ワニブックス

コロナ・ショックは日本経済を復活させる千載一遇の好機。日本経済の復活は、世界情勢の安定にもかかわる問題。景気 V 字回復のシナリオを語る。インターネット番組「田村秀男の経済ひとりごと」をもとに書籍化。

2020.10./ 237p
978-4-8470-9967-0
本体 ¥1,430〔税込〕
* 9 7 8 4 8 4 7 0 9 9 6 7 0 *

産経新聞 2021/01/17



1984年に生まれて

カ 景芳 著
中央公論新社

1984 年。父は出奔し、私は生まれた。2006 年。大学卒業前に進路を見失った軽雲は、父の暮らすプラハに来ていた。二つの時代の中国社会に翻弄され、父と娘は人生の分岐をさまよい続ける…。自伝の形をとった小説。

2020.11./ 408p
978-4-12-005355-9
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 3 5 5 9 *

産経新聞 2021/01/17、日本経済新聞 2021/01/23



実録昭和の重大事件「中継現場」

河出書房新社

成田闘争、東大安田講堂事件、よど号事件、浅間山荘事件…。日本テレビのアナウンサーだった著者が、1960～80 年代の数々の事件で体験した「中継現場」の臨場感を伝える。

2020.11./ 253p
978-4-309-02927-6
本体 ¥2,090〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 9 2 7 6 *

産経新聞 2021/01/23



シネマ・ウィズ・カクテル

大泉書店

「ローマの休日」「スタンド・バイ・ミー」「君の名は。」「パラサイト」は、どんな味のカクテルに? 映画をイメージしたオリジナルカクテルレシピと、モチーフとなった映画 120 作品を紹介する。

2020.12./ 143p

978-4-278-03825-5

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/01/23、読売新聞 2021/01/31



自由への手紙オードリー・タン

オードリー・タン／クーリエ・ジャポン編集チーム 著

講談社

常識、ジェンダー、家族制度、仕事…。誰かが「決めた」正しさには、もう、合わせなくていい! 台湾の最年少デジタル大臣が、日本の若き世代に向け、新しい社会をつくるための 17 通の手紙を綴る。

2020.11./ 197p

978-4-06-522095-5

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/01/24



わたしの好きな季語

川上 弘美 著

NHK出版

行きつけだった居酒屋から、東京の四季おりおり、すこし人見知りな作家の日常まで。川上弘美ワールドを満喫しながら季語の奥深さを体感できる、俳句エッセイ集。全 96 篇を収録。『すてきにハンドメイド』連載を書籍化。

2020.11./ 207p

978-4-14-005714-8

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/01/24



雪のなまえ

村山 由佳 著

徳間書店

不登校の小学 5 年生・雪乃は、会社を辞めて I ターンした父と長野で暮らし始める。胸に抱える苦しい思いを吐き出すことができない雪乃。そんな雪乃の心を溶かしてくれたのは…。『日本農業新聞』掲載に加筆修正して単行本化。

2020.12./ 381p

978-4-19-865202-9

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/01/24



「そろそろ、お酒やめようかな」と思ったときに読む本

垣渕洋一 著

青春出版社

お酒をやめると快眠・クリアな思考・時間が手に入る! アルコール外来の専門医が、お酒との正しいつきあい方や知っておきたい「危険なサイン」、飲酒時の体の変化などを解説し、禁酒が続く仕組みの作り方を徹底指南する。

2020.12./ 251p

978-4-413-23181-7

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/01/24



人生! 逆転図鑑～山あり谷ありの 32 人に学ぶ成功の法則～

早見俊 著

秀和システム

望まぬ廃業から華麗な転身を遂げた徳川夢声、2 度も倒産しながら自動車王となったフォード、65 歳からの起業で世界的チェーン店をつくった実業家…。荒波に呑み込まれながらも、成功をつかんだ 32 人の生き方を紹介する。

2020.11./ 326p

978-4-7980-6191-7

本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/01/24



スポーツを変えたテクノロジー～アスリートを進化させる道具の科学～

スティーヴ・ヘイク／浅井 武 著

白揚社

革新的な技術や素材は競技をどう変えたのか？ 古代ギリシャの陸上競技から現代の球技や水泳まで。スポーツ工学の第一人者がスポーツの歴史を振り返り、スポーツに突破口をもたらしたテクノロジーの激動のストーリーを伝える。

2020/9./ 390p

978-4-8269-0219-9

本体 ¥2,640〔税込〕



産経新聞 2021/01/24



オニタロウ(福音館創作童話シリーズ)

こさかまさみ 著

福音館書店

カキの木山に住むやさしいオニのオニタロウは、30 人子分がいると、とうさんオニにうそをついてしまいました。子分を探していたオニタロウは、「たけのこえん」の庭で遊んでいるこどもたちを見つけて…。

2021/1./ 99p

978-4-8340-8590-7

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/01/24



象徴天皇制のゆくえ

茶谷 誠一 編

南日本新聞開発センター

日本国憲法下で誕生した象徴天皇制の 70 年以上にわたる歩みと現状、そして今後の展望までを視野に入れながら、その全体像を読み解けるよう、政治、外交、社会、国際社会、メディアという各分野の専門家による論文を収録。

2020/9./ 215p

978-4-86074-285-0

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/01/24



騙る

黒川 博行 著

文藝春秋

価値を知らない素人に、親切を装って作品を売りさばく段取りをつけるが…。『マケツ』をはじめ、「上代裂」「乾隆御墨」など、古美術業界のもうけ話にたかる人々を描いた、ミステリー連作集。『オール讀物』掲載を書籍化。

2020/12./ 282p

978-4-16-391305-6

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/01/31



猫がなくなった

保坂 和志 著

文藝春秋

高平君がうちに来て、涙ながらになくなった猫の話をはじめた。聞けば聞くほど私が外で世話していたキャシーそっくりで…。忘れがたい猫達や風景、書物をめぐる 9 つの短篇を収録。『文學界』ほか掲載を書籍化。

2021/1./ 242p

978-4-16-391314-8

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/01/31



日本怪異伝説事典

えいとえふ 著

笠間書院

恐山霊場、東北のイエス・キリスト、虚舟、玉藻前と殺生石、徳川幕府の埋蔵金、鬼が棲む大江山、最古のピラミッド葦嶽山…。日本の各地域で語られた、怪異で不思議な伝説を 800 項目以上掲載。

2020/12./ 423p

978-4-305-70934-9

本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/01/31



パンデミック下の書店と教室～考える場所のために～

小笠原 博毅／福嶋 聡 著

新泉社

新型コロナウイルスの感染拡大であらわになった民主主義、分断、格差の問題。この時代に本を読み、学び、社会について考えることの意味を、書店と教室の現場から問い直す往復書簡。『論座』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

産経新聞 2021/01/31

2020.11./ 221p

978-4-7877-2000-9

本体 ¥1,980〔税込〕



そして映画館はつづく～あの劇場で見た映画はなぜ忘れられないのだろう～

フィルムアート社 著

フィルムアート社

全国の映画館主をはじめとして、配給、上映関係者、ミニシアター・エイド事務局、映画監督・黒沢清、俳優・橋本愛らが、「映画館のこれまでとこれから」を語る。全国のミニシアターガイドも収録。

産経新聞 2021/01/31

2020.11./ 292p,40p

978-4-8459-2016-7

本体 ¥2,200〔税込〕



東京脱出論

藻谷 浩介／寺本 英仁 著

ブックマン社

東京、大阪、名古屋、福岡、横浜、仙台…。都会人に贈る「大都市脱出」のすすめ。高い家賃や通勤ラッシュ、コロナのリスクなどを背負う大都市を脱出し、地方で人間らしい豊かな暮らしを営むことを、メリットと共に指南する。

産経新聞 2021/01/31

2020.11./ 246p

978-4-89308-936-6

本体 ¥1,650〔税込〕



炎の人～ペルー日系人加藤マヌエル神父～

大塚 文平、クレアリー寛子 著

揺籃社

極貧の環境で生を受けた加藤マヌエル神父は、さらに貧しい人々に愛を与える母親の教えを実践し、清貧を貫いた。ペルー日系人社会の中で初めて叙階した宣教師の、波乱と慈愛に満ちた人生を描く。

産経新聞 2021/01/31

2020.10./ 238p

978-4-89708-440-4

本体 ¥1,980〔税込〕



武士マチムラ(集英社文庫 こ 28-17)

今野 敏 著

集英社

幕末の沖縄を生きた空手家・松茂良興作。明治維新の荒波が沖縄を襲い、琉球王国がヤマトに消滅させられると、興作は反ヤマト派の活動を始めるが…。空手の真髄と沖縄のあるべき姿を追い求めた男の波乱の一代記。

朝日新聞 2021/01/09

2020.11./ 389p

978-4-08-744175-8

本体 ¥836〔税込〕



樹木たちの知られざる生活～森林管理官が聴いた森の声～(ハヤカワ文庫 NF 531)

ペーター・ヴォールレーベン、長谷川 圭 著

早川書房

樹木たちはコミュニケーションを取り合い、ときに助け合う。その一方で熾烈な縄張り争いをも繰り広げる。学習をし、音に反応し、数を数える。ドイツの森林管理官が、長年の経験と科学的裏付けをもとに、木や森の真実を語る。

朝日新聞 2021/01/09

2018.11./ 286p

978-4-15-050531-8

本体 ¥770〔税込〕





U(文春文庫 み 13-11)

皆川 博子 著
文藝春秋

オスマン帝国の捕虜となり、不老の体を手に入れた 3 人の美少年。300 年後、ドイツ軍 U ボートの乗組員となった彼らを待ち受けるものは…。数奇な運命に翻弄される若者たちの物語。綾辻行人、須賀しのぶらとの往復書簡付き。

朝日新聞 2021/01/09

2020:11./ 463p
978-4-16-791591-9
本体 ¥1,078〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 5 9 1 9 *



新作らくごの舞台裏(ちくま新書 1533)

小佐田 定雄 著
筑摩書房

新作のアイディアはどこから生まれる？ 演者にあててどう書き分ける？ 著者がこれまでに作った新作落語と古典落語の復活と改作、狂言と落語を合体させた「落言」を作った順に紹介し、落語作家という稀有な職業の秘密を語る。

朝日新聞 2021/01/09

2020:11./ 284p,4p
978-4-480-07338-9
本体 ¥1,012〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 3 3 8 9 *



挫波/敦賀～未練の幽霊と怪物～

岡田 利規 著
白水社

岡田利規によるコンテンポラリー能楽集。天才建築家ザハ・ハディドと高速増殖炉もんじゅについて謡う「未練の幽霊と怪物」などを収録する。上演許可申請書付き。

朝日新聞 2021/01/09

2020:8./ 144p
978-4-560-09783-0
本体 ¥2,640〔税込〕
* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 7 8 3 0 *



民主主義の壊れ方～クーデタ・大惨事・テクノロジー～

デイヴィッド・ランシマン 著
白水社

民主主義の終焉はいかに起こるのか？ ケンブリッジ大学政治学教授が、クーデタ・大惨事・テクノロジーという観点からリアルな姿を見詰め直す。また、今の民主主義が終焉した後に来るものについて考察する。

朝日新聞 2021/01/09

2020:10./ 271p,9p
978-4-560-09792-2
本体 ¥2,640〔税込〕
* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 7 9 2 2 *



ネコの博物図鑑

サラ・ブラウン 著
原書房

ネコの進化、成長、家畜化、行動、生物学、社会に関する完全ガイド。人々が愛してやまない動物であるネコを広範な観点から解説し、野生のネコが人類の傍らで飼いネコへと変貌していく道のりを、豊富な図版・写真とともに辿る。

朝日新聞 2021/01/09

2020:11./ 224p
978-4-562-05785-6
本体 ¥3,520〔税込〕
* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 7 8 5 6 *



ファシズム～警告の書～

マデレーン・オルブライト 著
みすず書房

ナチズムとスターリニズムの脅威を体験したアメリカ初の女性国務長官が、対峙した各国指導者の印象を交えながら、国内外で高まっている危険な兆候を国別に分析。その特徴と克服のための道筋を論じる。

朝日新聞 2021/01/09

2020:10./
6p,270p,16p
978-4-622-08943-8
本体 ¥3,300〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 9 4 3 8 *



猫と東大。～猫を愛し、猫に学ぶ～

東京大学広報室 編

ミネルヴァ書房

猫も杓子も東大も。大学は大学らしく猫の世界を掘り下げます。猫に関する研究・教育、猫を愛する構成員、猫にまつわる学内の美術品まで、猫と東大のいろいろな話題を写真と共に紹介。東京大学広報誌『淡青』をもとに書籍化。

2020.11./ 164p,2p

978-4-623-08931-4

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09



苦学と立身と図書館～パブリック・ライブラリーと近代日本～

伊東 達也 著

青弓社

公共図書館はいつ、どのようにして勉強・独学の空間になったのか。明治初期の唯一の無料公開図書館である東京書籍館の成立と展開をたどるとともに、資格試験の勉強空間として図書館を使う利用者が増えた歴史を掘り起こす。

2020.10./ 262p

978-4-7872-0074-7

本体 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09



カズオ・イングロと日本～幽霊から戦争責任まで～(水声文庫)

田尻芳樹 著

水声社

芸術、戦争、幽霊…。カズオ・イングロの<日本>はどこにあるのか？日本を舞台にした「浮世の画家」など初期作品の読解をはじめ、未刊行の草稿ノート類の調査によって見出された、日本をめぐる幻の作品を紹介・考察する。

2020.10./ 317p

978-4-8010-0508-2

本体 ¥3,300〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09



カズオ・イングロ失われたものへの再訪～記憶・トラウマ・ノスタルジア～

ヴォイチェフ・ドウロン 著

水声社

カズオ・イングロの語り手たちは、なぜ/何を語るのか。イングロ作品に通底する中心的概念である<記憶>と<喪失>の複雑な関係を、精神分析理論、トラウマ理論、文化理論などを援用しながら緻密に探る。

2020.10./ 354p

978-4-8010-0509-9

本体 ¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09



雑草のくらし～あき地の五年間～(福音館の科学の本)

甲斐信枝 著

福音館書店

植物はどんなくらしをしているのか？雑草の世界を5年にわたって見つめ続けてきた著者が、精魂傾けて描く、比類なく美しくドラマにみちた大型科学絵本。

1985.4./ 63p

978-4-8340-0236-2

本体 ¥2,530〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09



商売繁盛～時代小説アンソロジー～(角川文庫 時-あ 98-21)

末國 善己 編

朝井 まかて／梶 よう子／西條 奈加／畠中 恵／宮部 みゆき 著

KADOKAWA

湯屋を愛する少女が、初めての仕事に挑戦する「晴れ湯」、付喪神になって逃げだしたという根付けの行方を追う「利休鼠」…。朝井まかて、畠中恵、宮部みゆきら 5 人の人気作家が「お店」をテーマに描く時代小説アンソロジー。

2020.11./ 279p

978-4-04-109668-0

本体 ¥792〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09、読売新聞 2021/01/10



操作される現実～VR・合成音声・ディープフェイクが生む虚構のプロパガンダ～

サミュエル・ウーリー 著

白揚社

仮想空間での思想教育、リアルな偽の映像・音声による世論操作…。AI や政治、ソーシャルメディアを専門とする研究者が、感覚をハックするデジタル時代がもたらす新たな問題を分析し、その解決策を模索する。

2020.11./ 397p

978-4-8269-0222-9

本体 ¥3,190〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09、日本経済新聞 2021/01/16



「色のふしぎ」と不思議な社会～2020 年代の「色覚」原論～

川端 裕人 著

筑摩書房

こじれてしまった色覚問題-。「正常/異常」に線引きする色覚検査が復活したのはなぜ？ 先天色覚異常の当事者である科学作家が、専門家と目される眼科医、色覚にかかわる研究者などを取材し、先端科学の色覚観に迫る。

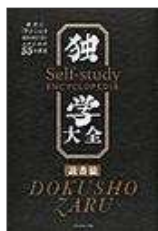
2020.10./ 348p

978-4-480-86091-0

本体 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09、日本経済新聞 2021/01/30



独学大全～絶対に「学ぶこと」をあきらめたくない人のための 55 の技法～

読書猿 著

ダイヤモンド社

独学の達人である著者による、勉強法の百科事典。何を、どう学べばいいか迷った時に役立つ、著者が独自に収集・開発した 55 の技法を厳選して紹介する。巻末に折込みの「独学困りごと索引」付き。

2020.9./ 752p,34p

978-4-478-10853-6

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/01/09、毎日新聞 2021/01/23



小さき者へ・生れ出ずる悩み 改版(岩波文庫 緑 36-6)

有島 武郎 著

岩波書店

「小さき者よ。不幸なそして同時に幸福なお前たちの父と母との祝福を胸にしまって人の世の旅に登れ」——妻の死から一年半足らず、有島武郎(1878—1923)が一気に書き上げた短篇。一方、芸術か生活か青年の懊悩を描いた中篇は、北海道の自然の絵画的描写と海洋小説の面でも知られる。傑作 2 篇。(解説＝三上秀吉・亀井俊介)

2004.8./ 141p

978-4-00-310366-1

本体 ¥506〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



アパレルの終焉と再生(朝日新書 795)

小島健輔 著

朝日新聞出版

瀕死のファッション業界はどう生き残るのか？ ファッションマーケティングの第一人者が、新型コロナ禍で泥沼化する現場に迫り、そこから脱却して新たな成長を図るビジネスモデル、テクノロジーの最前線を紹介する。

2020.12./ 229p

978-4-02-295106-9

本体 ¥869〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



バブル・コンプレックス(角川文庫 さ 15-19)

酒井 順子 著

KADOKAWA

受験戦争はらくらく通過、就職活動は売り手市場。苦労知らずで、おめでたくて、50代になっても後輩気分…。そんなバブル世代をあらゆるテーマから振り返った、愛と涙の世代論。

2020.11./ 254p

978-4-04-109982-7

本体 ¥704〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



人新世の「資本論」(集英社新書 1035)

斎藤 幸平 著

集英社

気候変動、コロナ禍…。人類の経済活動が地球を破壊する「人新世」=環境危機の時代。唯一の解決策は、潤沢な脱成長経済である。晩期マルクスの思想をヒントに、危機の解決策と豊かな未来社会への道筋を具体的に描きだす。

朝日新聞 2021/01/16

2020/9./ 375p

978-4-08-721135-1

本体 ¥1,122〔税込〕



平成金融史～バブル崩壊からアベノミクスまで～(中公新書 2541)

西野 智彦 著

中央公論新社

バブル崩壊後、北海道拓殖銀行や山一証券の経営破綻、リーマン危機に直面するなど、長期低迷にあえぐ日本経済。金融当局は当時どう考え、何を見誤ったのか。キーパーソンへの取材をもとに、金融失政の30年を検証する。

朝日新聞 2021/01/16

2019/4./ 316p

978-4-12-102541-8

本体 ¥1,012〔税込〕



もののけの日本史～死霊、幽霊、妖怪の1000年～(中公新書 2619)

小山 聡子 著

中央公論新社

もののけは、古代・中世では正体不明の死霊を指し、近世になると幽霊や妖怪と同一視され、明治以降には知識人や政府にその存在を否定された。豊富な史料からもののけの系譜を辿り、日本人の死生観、霊魂観に迫る。

朝日新聞 2021/01/16

2020/11./ 6p,281p

978-4-12-102619-4

本体 ¥990〔税込〕



寒い国から帰ってきたスパイ(ハヤカワ文庫 NV 174)

ジョン・ル・カレ 著

早川書房

ベルリンの壁を境に展開される英独諜報部の熾烈な暗闘を息づまる筆致で描破! 作者自身情報部員ではないかと疑われたほどのリアルな描写と、結末の見事などんでん返しとによってグレアム・グリーンに絶賛され、英国推理作家協会賞、アメリカ探偵作家クラブ賞両賞を獲得したスパイ小説の金字塔!

朝日新聞 2021/01/16

1978/5./ 382p

978-4-15-040174-0

本体 ¥990〔税込〕



ナイト・マネジャー<上>(ハヤカワ文庫 NV)

ジョン・ル・カレ、村上 博基 著

早川書房

ベルリンの壁を境に展開される英独諜報部の熾烈な暗闘を息づまる筆致で描破! 作者自身情報部員ではないかと疑われたほどのリアルな描写と、結末の見事などんでん返しとによってグレアム・グリーンに絶賛され、英国推理作家協会賞、アメリカ探偵作家クラブ賞両賞を獲得したスパイ小説の金字塔!

朝日新聞 2021/01/16

1998/6./ 386p

978-4-15-040877-0

本体 ¥1,254〔税込〕





ナイト・マネジャー<下>(ハヤカワ文庫 NV)

ジョン・ル・カレ、村上 博基 著

早川書房

身分を偽り、ローパーの側近になったジョナサンは武器密輸の情報を流しはじめるが、ローパーの愛人と禁断の恋におちてしまう。一方、イギリスのエージェントの極秘作戦は破綻を見せはじめていた。情報がローパー側に漏洩し、さらに、エージェントと対立する一派が作戦自体を破棄させようと動き出したのだ。正体を見破られたジョナサンと愛人に危機が迫る！悪辣な武器商人と、腐敗した政府を仮借なく描く入魂の大作。

朝日新聞 2021/01/16

1998:6./ 398p

978-4-15-040878-7

本体 ¥1,254〔税込〕



スパイたちの遺産(ハヤカワ文庫 NV 1460)

ジョン・ル・カレ、加賀山 卓朗 著

早川書房

引退生活を送るピーター・ギラムは、かつて所属していた英国情報部から呼び出された。冷戦期の射殺事件の遺族が訴訟を起こすといひ...。「ティンカー、テイラー、ソルジャー、スパイ」「寒い国から帰ってきたスパイ」の続篇。

朝日新聞 2021/01/16

2019:11./ 390p

978-4-15-041460-3

本体 ¥1,100〔税込〕



青春とは、

姫野 カオルコ 著

文藝春秋

コロナ禍のさなか、家でひきこもっていた女性が見つけた名簿と一冊の本。地方の高校に通っていた記憶が鮮明に甦る。彼女の胸に、35年の時を経てこみ上げる思いとは？『オール讀物』掲載に加筆して単行本化。

朝日新聞 2021/01/16

2020:11./ 251p

978-4-16-391296-7

本体 ¥1,650〔税込〕



知事の真贋(文春新書 1284)

片山 善博 著

文藝春秋

新型コロナ対応では各都道府県の知事たちの言動が注目された。マスコミ露出の多寡だけではわからない「知事の実力」とは何か。前鳥取県知事が自らの体験を元に解説。良い知事とダメな知事の見分け方がわかる一冊。

朝日新聞 2021/01/16

2020:11./ 227p

978-4-16-661284-0

本体 ¥880〔税込〕



世界のふしぎな木の実図鑑

山東 智紀／小林 智洋 著

創元社

植物が進化の末に獲得した果実・種子の驚くべき機能美、造形美。ユニークな外形に焦点を当てて厳選した世界中の様々な木の実を、約 300 点の高精細写真で紹介する。雑学を交えた説明も掲載。

朝日新聞 2021/01/16

2020:11./ 174p

978-4-422-43033-1

本体 ¥3,300〔税込〕





適切な世界の適切ならざる私(ちくま文庫 ふ 55-1)

文月 悠光 著
筑摩書房

“詩”とは、紙に整列する活字ではなく、日常の中で心や身体に起きる、生きた“現象”である。10代の痛々しいまでの揺らぎを、ことばの色彩で柔らかくにうつしとる。24編を収めた第1詩集。

朝日新聞 2021/01/16

2020.11./ 158p
978-4-480-43709-9
本体 ¥748〔税込〕



海をあげる

上間 陽子 著
筑摩書房

おびやかされる沖縄での美しく優しい生活。幼い娘を抱え、理不尽な暴力に直面してなお、その目には光が…。自らの声を聞き取った、著者初のエッセイ集。『web ちくま』『新潮』掲載に加筆修正し、書きおろしを加え単行本化。

朝日新聞 2021/01/16

2020.10./ 251p
978-4-480-81558-3
本体 ¥1,760〔税込〕



きらめく共和国

アンドレス・バルバ 著
東京創元社

亜熱帯の町に現れた理解不能な言葉を話す32人の子どもたち。彼らは盗みを働き、市民を襲い、そして一斉に死亡した。事件に関わった語り手が、22年後のいま、謎をひもといていき…。純粋で残酷な子どもたちの物語。

朝日新聞 2021/01/16

2020.11./ 179p
978-4-488-01105-5
本体 ¥1,980〔税込〕



物理村の風景～人・物理・巨人・追想をちりばめた宝石箱～

亀淵 迪 著
日本評論社

坂田昌一に師事し、朝永振一郎に傾倒した物理学者のエッセイ。湯川秀樹、ボーア、ラッセルなど様々な人との邂逅を洒落なタッチで描き出す。

朝日新聞 2021/01/16

2020.11./ 6p,345p
978-4-535-78924-1
本体 ¥2,970〔税込〕



食料危機～パンデミック、バッタ、食品ロス～(PHP新書 1242)

井出 留美 著
PHP研究所

深刻な食料危機はなぜ発生しているのか。膨大な情報に基づいて解説し、日本の食料危機の歴史や、食品ロスを防ぐための方法、昆虫食や培養肉への取り組みを語る。ミツバチの減少、バッタの大発生についてのインタビューも収録。

朝日新聞 2021/01/16

2021.1./ 237p
978-4-569-84830-3
本体 ¥1,045〔税込〕



1日10分のしあわせ(NHK国際放送が選んだ日本の名作 1)

朝井 リョウ、石田 衣良、小川 洋子、角田 光代、坂木 司、重松 清、東 直子、宮下 奈都 著

双葉社

全世界で聴かれているNHK WORLD-JAPANのラジオ番組で、17の言語に翻訳して朗読された作品のなかから、朝井リョウ「清水課長の二重線」、宮下奈都「アンデスの声」など、人気作家8名の短編を収録。

朝日新聞 2021/01/16

2019.7./ 167p
978-4-575-52240-2
本体 ¥559〔税込〕





1日10分のごほうび〜NHK 国際放送が選んだ日本の名作〜(双葉文庫 え-10-02)

赤川 次郎／江國 香織／角田 光代 著

双葉社

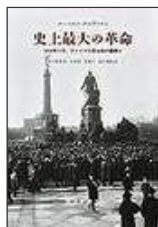
全世界で聴かれている NHK WORLD-JAPAN のラジオ番組で、17 の言語に翻訳して朗読された作品のなかから、原田マハ「誕生日の夜」、吉本ばなな「みどりのゆび」など、人気作家 8 名の短編を収録。

朝日新聞 2021/01/16

2020/3./ 189p

978-4-575-52328-7

本体 ¥616〔税込〕



史上最大の革命〜1918 年 11 月、ヴァイマル民主政の幕開け〜

ローベルト・ゲルヴァルト／大久保 里香／小原 淳 著

みすず書房

議会制民主主義や女性参政権を実現し、ナチ政権の到来で崩壊したヴァイマル共和国。当時の人々の証言や資料をもとに、革命前夜と共和国成立、国家と社会の構造転換を一望。ヴァイマル期の実像を描出し、現代史の死角を照らす。

朝日新聞 2021/01/16

2020/11./ 367p,76p

978-4-622-08952-0

本体 ¥5,060〔税込〕



狛犬さんぽ

ミノシマ タカコ 著

グラフィック社

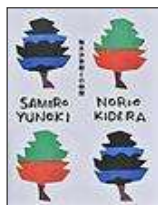
お気に入りの狛犬を探しに、狛犬さんぽに出かけよう! ゆるかわ狛犬、キュートな親子狛犬、動きや表情に注目したい狛犬など、全国約 100 社の個性的な狛犬を写真とともに紹介する。データ:2020 年 12 月現在。

朝日新聞 2021/01/16

2020/12./ 143p

978-4-7661-3453-7

本体 ¥1,870〔税込〕



柚木沙弥郎との時間

柚木 沙弥郎／木寺 紀雄 著

グラフィック社

脚色せず包み隠さず、気を許した瞬間もとても魅力的。写真家・木寺紀雄が長年に渡って、染色家・柚木沙弥郎の姿、作品、旅路を撮影した 242 枚を通じ、「柚木沙弥郎との時間」を体験できる写真集。

朝日新聞 2021/01/16

2020/12./ 251p

978-4-7661-3460-5

本体 ¥4,730〔税込〕



僕の大統領は黒人だった<上>

タナハシ・コウツ 著

慶應義塾大学出版会

アフリカ系アメリカ人が辿った過酷な歴史を踏まえながら、アメリカ初の黒人大統領バラク・オバマと黒人社会が歩んだ 8 年の軌跡を丁寧に辿る。BLM 運動を理解するための必読書。

朝日新聞 2021/01/16

2020/11./ 259p

978-4-7664-2705-9

本体 ¥2,750〔税込〕



僕の大統領は黒人だった<下>

タナハシ・コウツ 著

慶應義塾大学出版会

アフリカ系アメリカ人が辿った過酷な歴史を踏まえながら、アメリカ初の黒人大統領バラク・オバマと黒人社会が歩んだ 8 年の軌跡を丁寧に辿る。BLM 運動を理解するための必読書。

朝日新聞 2021/01/16

2020/11./ 227p

978-4-7664-2706-6

本体 ¥2,750〔税込〕





グラフィティ

岡本 啓 著
思潮社

ここにあるものと、ありえたもの、その揺らぎに身体ごと奪われる だれかがいつか忘れていった声に ふるえる瞬間がある(「グラフィティ」より)『現代詩手帖』の新人作品欄への投稿をまとめた第1詩集。

2014.11./ 96p
978-4-7837-3458-1
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



絶景ノート

岡本 啓 著
思潮社

どうか その眼を 今日一日を清める一カケラの怒りを 一瞬のうちに雨をたぐる うぶな呼吸を(「巡礼季節」より)2015年～2017年に発表した詩をまとめた第2詩集。本体は背表紙なし糸綴じ。

2017.8./ 113p
978-4-7837-3575-5
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



ざわめきのなかわらいころげよ

岡本 啓 著
思潮社

もう一度 呼ぶ 息よりもっと小さな声で だれかが呼びつづけた地名を 地名のそよぐ野のはてを そこではまだ わたしの影がまだ歩いているから(「ほどなく来る」より)詩集。

2020.12./ 168p
978-4-7837-3730-8
本体 ¥3,960〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



微妙におかしな日本語～ことばの結びつきの正解・不正解～(草思社文庫 か 8-1)

神永 暁 著
草思社

「暗雲」が垂れ込める? 立ち込める? 「暇」にあかす? まかす? 「日本国語大辞典」の元編集長で、辞書一筋 40 年のことばの達人が、日本語コロケーション(ことばの結びつき)の盲点を徹底解説する。

2020.12./ 367p
978-4-7942-2484-2
本体 ¥935〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



出会ってしまったツルとカメ 2(バンブーコミックス)

むんこ 著
竹書房

働きづめな達観青年の鶴田くん16歳、積極的なヤクザの娘・亀井ちゃん16歳。2人の高校生が出会ってしまった。学生っぽい(?)デートをしたり鶴田くんの家に入り込んだりと恋人として少しづつ距離を縮めていたが、2人を取り巻く環境はそのままであることを許さず……子供でいられなかった2人のラブコメディ、ついに完結!

2020.11./ 106p
978-4-8019-7142-4
本体 ¥902〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



地図で読む松本清張

北川 清/徳山 加陽/帝国書院編集部 著
帝国書院

「ゼロの焦点」「砂の器」「点と線」「球形の荒野」…。松本清張作品のあらすじ、登場人物などとともに、舞台となった土地の昭和 30 年代当時の地図・風景を紹介する。作品と時代を結ぶ年表、映画・ロケ地探訪なども収録する。

2020.12./ 165p
978-4-8071-6538-4
本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



スタンフォードが中高生に教えていること(SB新書 528)

星 友啓 著

SBクリエイティブ

スタンフォード大学・オンラインハイスクールを全米トップ校にした日本人校長が語る「ミライの教育」。「なぜ、偏差値、順位付けしてはいけないのか?」など、8つの「間違い習慣」と8つの「正解TIPS」を解説する。

2020.12./ 258p,5p

978-4-8156-0718-0

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



株式会社ウチらめっちゃ細かいんで～ひきこもり×在宅×IT＝可能性無限大!～

佐藤啓 著

あさ出版

ひきこもりの人たちは、人材の宝庫だった! 社員全員がひきこもり当事者・経験者。その代表が「実はめっちゃくちゃデキる」人たちの可能性、仕事をする中で気づいたこと、今後の展望などを綴る。

2020.11./ 271p

978-4-86667-248-9

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16



ブラック霞が関(新潮新書 885)

千正 康裕 著

新潮社

このままでは国民のために働けない。朝 7 時、仕事開始。27 時 20 分、退庁。ブラック労働は今や霞が関の標準だ。官僚が本当に能力を発揮できるようにするにはどうすればいいのか。元厚生労働省キャリアが具体策を提言する。

2020.11./ 239p

978-4-10-610885-3

本体 ¥858〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16、東京・中日新聞 2021/01/24



浪花節で生きてみる!

玉川 奈々福 著

さくら舎

落語、講談などとともに、久しく日の目を見なかった浪曲(浪花節)にも注目が集まっている。ひょんなことから三味線教室に通い、浪曲師となった著者が、浪花節に流れる価値観や自身のこと、影響を受けた師匠らについて綴る。

2020.12./ 245p

978-4-86581-274-9

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16、東京・中日新聞 2021/01/24



ドキュメント日銀漂流～試練と苦悩の四半世紀～

西野 智彦 著

岩波書店

ゼロ金利、量的緩和、インフレ目標…。異例の金融政策の背後で、いかなる駆け引きが行われていたのか。1998 年の日銀法施行以来、後退戦を余儀なくされてきた新日銀歴代総裁。その苦闘の歴史を詳細にドキュメントする。

2020.11./

12p,341p,4p

978-4-00-061438-2

本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/01/16、日本経済新聞 2021/01/30



さようなら、ギャングたち(講談社文芸文庫)

高橋 源一郎 著

講談社

詩人の「わたし」と恋人の「S・B(ソング・ブック)」と猫の「ヘンリー4 世」が営む超現実的な愛の生活を独創的な文体で描く。発表時、吉本隆明が「現在までのところポップ文学の最高の作品だと思う。村上春樹があり糸井重里があり、村上龍があり、それ以前には筒井康隆があり栗本薫がありというような優れた達成が無意識に踏まえられてはじめて出てきたものだ」と絶賛した高橋源一郎のデビュー作。

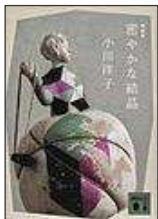
1997:4./ 381p

978-4-06-197562-0

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



密やかな結晶 新装版(講談社文庫 お 80-5)

小川 洋子 著

講談社

その島では、記憶が少しずつ消滅していく。何が消滅しても、島の人々は適応し、淡々と事実を受け入れていく。小説を書くことを生業とするわたしも、例外ではなかった。ある日、島から小説が消えるまでは....

2020:12./ 445p

978-4-06-521464-0

本体 ¥902〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



安全運転寿命を延ばすレッスン～最愛カーライフをいつまでも！～

松田 秀士 著

小学館

平常心の保ち方と心優しい運転の心構え、運転技術の習得と体のメンテナンス....。僧侶でレーシングドライバーで自動車評論家の著者が、3 つの視点で運転寿命を延ばす方法を伝える。加齢を助ける最新の安全技術も紹介する。

2020:12./ 158p

978-4-09-310672-6

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



庭(新潮文庫 お-95-3)

小山田 浩子 著

新潮社

ままならない日々を生きる人間のすぐそばで、虫や草花や動物たちが織り成す、息をのむような不可思議な世界。風景が静かに決定的に姿を変える瞬間を克明に描き出す、15 の物語を収録する。

2021:1./ 299p

978-4-10-120543-4

本体 ¥649〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



スマホ脳(新潮新書 882)

アンデシュ・ハンセン 著

新潮社

睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存...。スウェーデンで注目されるメンタルヘルスのインフルエンサーが、スマホや iPad が人間、特に子供や若者に与える影響を最新研究をもとに明らかにする。

2020:11./ 255p

978-4-10-610882-2

本体 ¥1,078〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



板垣退助～自由民権指導者の実像～(中公新書 2618)

中元 崇智 著

中央公論新社

戊辰戦争で官軍の指揮官として名声を得た板垣退助は、維新後、民選議会設立を求め自由民権運動に邁進した。日本最初の政党を結成し、議会政治に大きな役割を果たした板垣の実像に迫る。

2020.11./ 3p,260p

978-4-12-102618-7

本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



晩夏～少年短篇集～(中公文庫 い 37-6)

井上 靖 著

中央公論新社

たわいない遊びや美しい少女への憧れ、垣間見た大人の世界…。誰もが通り過ぎるが、二度と帰れない日々の揺らぐ心を、鋭敏な感性で綴った作品を集成。教科書名短篇「少年」「帽子」や、随筆「少年に与える言葉」などを収録。

2020.12./ 281p

978-4-12-206998-5

本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



対話の技法

納富信留 著

笠間書院

魂と魂が向き合う、言葉という場が「対話」。「対話」と「会話」はどう違う? 「実りある対話をするために必要な心がまえとは?」などの疑問に答えながら、「人と人がわかり合うこと」の本質に迫る。

2020.11./ 189p

978-4-305-70932-5

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



泣かない女はいない(河出文庫)

長嶋 有 著

河出書房新社

ごめんねといっぺんはいけないと思った。「ごめんね」でも、いってしまった。--恋人・四郎と暮らす睦美に訪れた不意の心変わりとは? 恋をめぐる心のふしぎを描く話題作、待望の文庫化。「センスなし」併録。

2007.10./ 180p

978-4-309-40865-1

本体 ¥539〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



中二階(白水Uブックス)

ニコルソン・ベイカー、岸本 佐知子 著

白水社

中二階のオフィスに戻る途中のサラリーマンがめぐる超ミクロ的考察。靴紐はなぜ左右同時期に切れるのか、なぜミシン目の発明者を讃える日がないのか…。誰も書かなかった、前代未聞の注付き小説。再刊。

1997.10./ 197p

978-4-560-07122-9

本体 ¥1,045〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



お寺のどうぶつ図鑑

二見書房

ネコは商売繁盛、ウシは無病息災…。お寺の動物に隠されたひみつと、そのご利益、驚きの歴史を解説。動物パワーで福を呼ぶお寺 170 も紹介する。「神社のどうぶつ図鑑」の姉妹編。データ:2020 年 10 月現在。

2020.12./ 158p

978-4-576-20189-4

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



日本国憲法のお誕生～その受容の社会史～

江橋 崇 著

有斐閣

日本国憲法の誕生は急ごしらえの舞台上での一幕の乱舞劇であった。歴史のひだに隠されていた“もうひとつの憲法物語”を、制定記念グッズや祝賀行事、公式記録などの深読みを通してひも解く。『書斎の窓』連載を元に書籍化。

2020.11./ 6p,218p

978-4-641-22796-5

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



花森安治選集<1> 美しく着ることは、美しく暮すこと

花森 安治 著

暮しの手帖社

『暮しの手帖』の初代編集長・花森安治が、ペンの力で庶民の暮しをより良くしようと提言してきた散文、随筆、評論、コラムを厳選。1 は、昭和 21 年から 28 年までの、服飾を中心とした著述を集成。

2020.6./ 476p

978-4-7660-0216-4

本体 ¥3,960〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



花森安治選集<2> ある日本人の暮し

花森 安治 著

暮しの手帖社

『暮しの手帖』の初代編集長・花森安治が、ペンの力で庶民の暮しをより良くしようと提言してきた散文、随筆、評論、コラムを厳選。2 は、連載「ある日本人の暮し」30 編と、連載「日本紀行」3 編を収録。

2020.9./ 494p

978-4-7660-0217-1

本体 ¥3,960〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



花森安治選集<3> ぼくらは二度とだまされない

花森 安治 著

暮しの手帖社

『暮しの手帖』の初代編集長・花森安治が、ペンの力で庶民の暮しをより良くしようと提言してきた散文、随筆、評論、コラムを厳選。3 は、「風の吹く町で」8 編のほか、『文藝春秋』『朝日新聞』掲載記事などを収録。

2020.11./ 482p

978-4-7660-0218-8

本体 ¥3,960〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



ノーベル平和賞の裏側で何が行われているのか?

ゲイル・ルンデスタッド 著

彩図社

世界で最も名誉ある賞「ノーベル平和賞」の舞台裏とは? ゴルバチョフ、マンデラ、オバマなどの受賞者とコンタクトを取ったノルウェー・ノーベル委員会の元事務局長が、ノーベル平和賞の知られざる真実を語る。

2020.10./ 479p

978-4-8013-0486-4

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23



日本史「今日は何の日」事典～367日+360日・西暦換算併記～

吉川弘文館編集部 編

吉川弘文館

正確な日付に西暦換算年月日を併記し、「その日」におきた日本史上の出来事が分かる日めくり事典。出典の明らかな記事を、日付ごとに掲載する。暦に関するコラムや付録も充実。

2021.1./ 405p

978-4-642-08391-1

本体 ¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23、読売新聞 2021/01/24



物語の近代～王朝から帝国へ～

兵藤 裕己 著
岩波書店

ものがたりの言語空間は「近代」とどのように出会ったのか。中世から近世・近代にいたる物語の後景にある「もの」を前景化し、近代を形成した「物語」、近代の「物語」にあらがう「もの」のゆくえについて論じる。

2020:11./
20p,308p,4p
978-4-00-025326-0

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23、日本経済新聞 2021/01/23



占領下のエンタテイナー～日系カナダ人俳優&歌手・中村哲が生きた時代～

寺島 優 著
草思社

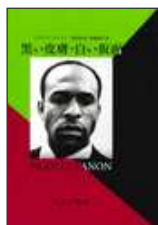
戦前はバンクーバー「朝日軍」の本塁打王。一転、進駐軍キャンプの人気歌手。そして日米合作映画や B 級映画で「怪しげな日本人」役…。国際派タレントとして異色の足跡を残した日系カナダ人二世、中村哲の波乱の生涯に迫る。

2020:12./ 412p
978-4-7942-2481-1

本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/01/23、毎日新聞 2021/01/30



黒い皮膚・白い仮面 新装版

フランツ・ファノン 著
みすず書房

黒い皮膚への偏見に身を貫かれた自らの生体験から、黒人と白人の関係を理解する試みを開始した著者。黒人が白人社会で出会う現実と心理を、精神分析的なアプローチを含め、様々な側面から描く。

2020:8./ 323p
978-4-622-08950-6

本体 ¥4,070〔税込〕



朝日新聞 2021/01/27



彼方の光

シェリー・ピアソル 著
偕成社

黒人奴隷の少年サミュエルは、親代わりの年老いたハリソンからカナダへの逃亡を告げられ、二人は北をめざす。自由になるための、終わりなき旅がはじまり…。実話をもとにして描いた、息をもつかせぬ物語。

2020:12./ 301p
978-4-03-744790-8
本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



ほしとんで<01>(ジーン LINE コミックスシリーズ)

本田 著
KADOKAWA

個性際立つ人が多い芸術学部——その中でも尾崎流星(18)が入ったのは、強烈な生徒ばかりの「俳句ゼミ」で!? 切れ字って? 季語って? 淡々とした性格の流星と濃ゆ〜い俳句ゼミメンバー俳句は果たして上達するのか。『ガイコツ書店員 本田さん』の本田が描く、本格<俳句>青春グラフィティ!!

2018:10./ 164p
978-4-04-065215-3
本体 ¥660〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



死相学探偵最後の事件(角川ホラー文庫 [死相学探偵] み 2-8 [8])

三津田 信三 著
KADOKAWA

黒術師の居所を突き止めるべく奔走する黒捜課のメンバーと俊一郎たちは、候補地の 1 つである孤島に渡った。黒術師の罠を警戒し、緊張する一行を嘲笑うかのように、不可解な連続殺人事件が起き始め…。シリーズ完結。

2021:1./ 420p
978-4-04-110839-0
本体 ¥836〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



未来のサイズ

俵 万智 著

KADOKAWA

手伝ってくれる息子がいることの幸せ包む餃子の時間 制服は未来のサイズ入学の
どの子どもどの子ども未来着ている 誰だって何かで死ぬと思えども死よりも病を恐れる心
2013～2020年の作品から418首を収めた第6歌集。

朝日新聞 2021/01/30

2020.10./ 181p

978-4-04-884381-2

本体 ¥1,540〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 8 8 4 3 8 1 2 *



倒錯のロンド 完成版(講談社文庫 お 63-24)

折原 一 著

講談社

推理小説新人賞に応募しようとした自信作が盗まれた! そして同タイトルの作品が受賞作に。時代の寵児となったのは白鳥翔。山本安雄がいくら盗作だと主張しても誰も信じてくれない。原作者は執念で盗作者を追いつめる。

朝日新聞 2021/01/30

2021.1./ 396p

978-4-06-521965-2

本体 ¥880〔税込〕



* 9 7 8 4 0 6 5 2 1 9 6 5 2 *



心淋し川

西條 奈加 著

集英社

江戸の片隅、小さなどぶ川沿いに立ち並ぶ古い長屋。住民たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた。懸命に生を紡ぐ人々の切なる願いが胸にしみる連作時代小説。『小説すばる』掲載に加筆・修正して単行本化。

朝日新聞 2021/01/30

2020.9./ 242p

978-4-08-771727-3

本体 ¥1,760〔税込〕



* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 7 2 7 3 *



ランナウェイ(小学館文庫 コ3-2)

ハーラン・コーベン 著

小学館

サイモンは大学生の長女ページの行方を捜していた。娘は恋人に薬漬けにされたあげく、学生寮から姿を消したのだ。ある日刑事から殺人事件の報せを受けたサイモンは、妻イングリッドと共にページと男の罅へ踏み込むが...

朝日新聞 2021/01/30

2020.12./ 621p

978-4-09-406682-1

本体 ¥1,408〔税込〕



* 9 7 8 4 0 9 4 0 6 6 8 2 1 *



ドラえもん短歌(小学館文庫 ま 17-1)

柊野 浩一 著

小学館

「ドラえもん」は、日本人にとって、俳句の“季語”以上の“共通語”。恋も笑いも切なさも「ドラえもん」ならみんなに届く歌になる。歌人、柊野浩一の呼びかけで集まった、新・短歌ジャンルの傑作選。待望の文庫版!

朝日新聞 2021/01/30

2011.7./ 157p

978-4-09-408633-1

本体 ¥502〔税込〕



* 9 7 8 4 0 9 4 0 8 6 3 3 1 *



短歌という爆弾〜今すぐ歌人になりたいあなたのために〜(小学館文庫 ほ 4-3)

穂村 弘 著

小学館

ロックシンガーのシャウトのように、短歌は世界の心臓を爆破する。短歌の「製造法」「設置法」「構造図」を、都市を疾走する歌人・穂村弘が熱く語るユニークな「スーパー短歌入門」。著者のロングインタビューも収録。

朝日新聞 2021/01/30

2013.11./ 332p

978-4-09-408869-4

本体 ¥680〔税込〕



* 9 7 8 4 0 9 4 0 8 8 6 9 4 *



うしとさん

高島 那生 著
小学館

今日はこれからうしに登ります。前足の短い毛をつかんで、汗だくになって登ります。なぜ登るのかって？ そんなこときいちゃあいけません。ようやくたどり着いたうしの背中には、なにが待っているのでしょうか？

2020.12./ 1 冊(ペー
ジ付なし)

978-4-09-725085-2

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



コロナ危機の政治～安倍政権 vs.知事～(中公新書 2620)

竹中 治堅 著
中央公論新社

緊急事態宣言、PCR 検査、休業要請…。日本政治はいかに新型コロナウイルス感染症に対応したのか。安倍政権と知事らの対応のプロセスを丹念にたどり、危機が明らかにした日本の政治体制とその問題点を描く。

2020.11./ 3p,356p

978-4-12-102620-0

本体 ¥1,078〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



境界線の学校史～戦後日本の学校化社会の周縁と周辺～

木村 元 編
東京大学出版会

定時制や夜間中学が問う「学校のかたち」の境界、外国人学校が問う「国民」の境界…。教育は誰が誰に何を保障すべきか。学校を経なくては社会に居場所を見出しにくい日本の学校化社会のありかたを歴史に追う。

2020.12./ 7p,258p

978-4-13-051355-5

本体 ¥3,960〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



江戸東京名所事典～古地図で辿る歴史と文化～

笠間書院編集部 編
笠間書院

天保年間に出版された江戸のガイドブック「江戸名所図会」所収の名所旧跡、神社仏閣を中心に、江戸時代の名所を「江戸切絵図」で辿りながら楽しめる事典。江戸東京中心部・中央部・東部など、5つの地域に分けて解説する。

2020.12./ 377p

978-4-305-70935-6

本体 ¥2,530〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



チェリーシュリンプ～わたしは、わたし～

ファン ヨンミ 著
金の星社

学校の課題がきっかけで仲よしグループから仲間外れにされるダヒョン。それを機に、友人関係を見つめなおし、「自分は自分」という思いを強めていき…。韓国の10代女子の日常、心情を鮮やかに描きだす。

2020.11./ 239p

978-4-323-07466-5

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



念力恋愛

笹 公人 著
幻冬舎

春風をまとう恋文呑み込んできらめくポストの銀のくちびる 歌人・笹公人の恋愛歌集。108の短歌を、水野しずによる40の絵とともに収録するほか、妄想ラブレター4作も掲載。

2020.10./ 143p

978-4-344-03680-2

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



怖い俳句(幻冬舎新書 く-5-1)

倉阪 鬼一郎 著

幻冬舎

世界最短の詩文学・俳句は同時に世界最恐の文芸形式でもある。日常を侵犯・異化する“なにか”、未知なるものとの遭遇、人間性そのもの…。数々のホラー小説を手がけ、また俳人でもある著者が、芭蕉から現代までをたどる。

2012:7./ 247p

978-4-344-98269-7

本体 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



現代秀句 増補版(日本秀句 別巻)

正木 ゆう子 著

春秋社

鑑賞は創造に通じる。斯界の実力者が、現代俳句の多彩な展開を縦横無尽に読み解く。新たに秀作 18 句を厳選し、「俳句の現在」の豊穡な世界へと誘う増補版。

2012:11./ 266p

978-4-393-43443-7

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



バナナ・ビーチ・軍事基地〜国際政治をジェンダーで読み解く〜

シンシア・エンロー 著

人文書院

性産業、食品加工工業、軍事基地、外交の場まで。世界の不平等が凝縮された場所から、国境を越えて女性が連帯し、平等で平和な社会を実現するには。背景の異なる様々な女性の声に耳をすませた鮮やかな政治学的分析。

2020:11./ 483p

978-4-409-24134-9

本体 ¥6,380〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



訴えたらむしろ負ける!!ハラスメント図鑑

こじらじ 著

大和書房

もはや時代の言葉と言っても過言ではない「ハラスメント」。これがハラスメントならもう何もできない? 言葉のプロであるこじらじが妄想で考えた「訴えたらむしろ負けそう」なハラスメントに、ネゴシックスのイラストを付す。

2020:11./ 157p

978-4-479-39355-9

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



飯舘村からの挑戦〜自然との共生をめざして〜(ちくま新書 1540)

田尾 陽一 著

筑摩書房

ボランティアと研究者を結集して「ふくしま再生の会」を結成し、飯舘村で自然と人間の共生を訴える著者が、これまでの活動を振り返り、ポストコロナの時代に不可欠な、自然との共生理念とその実践の道を提示する。

2020:12./ 318p

978-4-480-07363-1

本体 ¥1,034〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



しびれる短歌(ちくまプリマー新書 318)

東 直子、穂村 弘 著

筑摩書房

恋、食べ物、家族、動物、時間、お金、固有名詞の歌、トリッキーな歌…。さまざまな短歌について、その向こうの景色や思い、時代性を語る。ふたりの歌人による楽しい短歌入門。

2019:1./ 219p

978-4-480-68916-0

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/01/30



魯迅と世界文学

藤井 省三 著

東方書店

東アジア共通の文化遺産である魯迅文学を、作家たちはどのように受容し作品へと昇華させていったのか。国や時代を越えグローバルな時空から、魯迅文学および東アジア作家による魯迅読書体験を読み解く試み。

朝日新聞 2021/01/30

2020:11./ 8p,359p

978-4-497-22022-6

本体 ¥2,970〔税込〕



大切な人は今もそこにいる～ひびきあう賢治と東日本大震災～(世界をカエル)

千葉 望 著

理論社

陸前高田と東京、妹・トシの死にまつわる宮澤賢治の作品が、3月11日とひびきあう。東日本大震災から10年、大災害時代の死について考え、伝えたいことを綴る。

朝日新聞 2021/01/30

2020:11./ 183p

978-4-652-20403-0

本体 ¥1,430〔税込〕



さよなら、男社会

尹 雄大 著

亜紀書房

真に女性と、他者とつながるために、乗り越えねばならない「男性性」の正体とは何か。自らの体験を出発点に「いかにして男はマッチョになるのか」「どうすれば男性性を脱ぎ去ることができるのか」を問う当事者研究の書。

朝日新聞 2021/01/30

2020:12./ 205p

978-4-7505-1676-9

本体 ¥1,540〔税込〕



キングコング・セオリー

ヴィルジニー デパント 著

柏書房

自分自身であることは、他のなによりおもしろいことだと思う。17歳の時に受けたレイプ被害や個人売春の経験をもとに、性暴力や売春、ポルノの本質について独自のフェミニズム理論を展開する自伝的エッセイ。

朝日新聞 2021/01/30

2020:11./ 219p

978-4-7601-5248-3

本体 ¥1,870〔税込〕



桂浜水族館公認飼育員のトリセツ

辰巳出版

高知にある桂浜水族館の飼育員さんたちにフォーカスを当て、その魅力を紹介。飼育員さんたちの生態、手書きのプロフィール、仕事についてのインタビュー、全員参加の座談会などを収録する。

朝日新聞 2021/01/30

2020:12./ 111p

978-4-7778-2686-5

本体 ¥1,540〔税込〕



夜の水平線～津川絵理子句集～

津川絵理子 著

ふらんす堂

山の音太きつららとなりけり 欲しき本無けれど書肆に秋惜しむ 雨の日の雨の窓ある難かな 大南風アルプス席に人はりつく 水に浮く水鉄砲の日暮かな 2012～2019年の作品を収めた句集。

朝日新聞 2021/01/30

2020:12./ 196p

978-4-7814-1319-8

本体 ¥2,970〔税込〕





自分の薬をつくる

坂口 恭平 著

晶文社

みんなの「悩み」に対して強力な効果があり、心と体に変化が起きる「自分でつくる薬」とは？ 希死念慮に苦しむ人々との対話を続ける著者が、2019 年に行ったワークショップを誌上で再現する。

朝日新聞 2021/01/30

2020:7./ 289p

978-4-7949-7184-5

本体 ¥1,650〔税込〕



自生地

福田 若之 著

東京四季出版

梅雨の自室が老人の死ぬ部屋みたいだ パンジーの群れ夜行する乳母車 やわらかいかまきりのうまれたばかり <句>と<文>の、新たな草むら。文章も収録した初句集。

朝日新聞 2021/01/30

2017:8./ 249p

978-4-8129-0913-3

本体 ¥1,870〔税込〕



歴史教育の比較史

近藤 孝弘 編

岡本 隆司／武 小燕／小笠原 弘幸／貴堂 嘉之 著

名古屋大学出版会

なぜ歴史をめぐって国どうしが争うのか。世界各地で歴史はどのように教えられてきたのか。自国史と世界史との関係を軸に、4 つの地域の現在にいたる「歴史教育」の歴史を跡づけ、歴史とは何か、教育とは何かを問い直す。

朝日新聞 2021/01/30

2020:12./ 4p,313p,9p

978-4-8158-1011-5

本体 ¥4,950〔税込〕



世界で一番すばらしい俺～工藤吉生歌集～

工藤 吉生 著

短歌研究社

コントラバス略してコンバス体格がオレよりもいいオレの楽器だ 死にたくて飛びこんだ海で全身を包むみたいに今日を終わらす 膝蹴りを暗い野原で受けている世界で一番すばらしい俺 331 首を収めた第 1 歌集。

朝日新聞 2021/01/30

2020:7./ 133p

978-4-86272-644-5

本体 ¥1,650〔税込〕



たやすみなさい～歌集～(現代歌人シリーズ 27)

岡野大嗣 著

書肆侃侃房

もう一軒寄りたい本屋さんがあってちょっと歩くんやけどいいかな なにげない日常に潜む奇跡を、琥珀の中に永遠に閉じ込めてしまうような作品の数々。ポップスのように、映画のように、アクトリアルな歌集。

朝日新聞 2021/01/30

2019:10./ 139p

978-4-86385-380-5

本体 ¥2,200〔税込〕



100歳ランナーの物語～夢をあきらめなかったファウジャ～

シムラン・ジート・シング 著

西村書店

生まれつき足が弱くても、決してあきらめず、挑戦しつづけてきたファウジャは、だれに対しても分けへだてなく、正直であることを大切に生きてきました。そして 100 歳でマラソン世界一となり…。スポーツ伝記絵本。

朝日新聞 2021/01/30

2020:12./ 44p

978-4-86706-016-2

本体 ¥1,760〔税込〕





コロナの時代の歴史学

歴史学研究会編 編
績文堂出版

感染症が問いかけるものに歴史学はいかに応えるのか。政治と社会の分断、新たな排除と差別、格差問題...新型コロナウイルスにより浮き彫りにされた現代社会がはらむ諸問題に対して、気鋭の歴史家たちが新たな視座を提示する。

朝日新聞 2021/01/30

2020.12./ 171p
978-4-88116-136-4
本体 ¥1,980〔税込〕



水界園丁〜生駒大祐第一句集〜

生駒 大祐 著
港の人

よぎるものなきはつふゆの絵一枚 いつやらの季題を君としてしまふ 色がない代はり
に柚子をかかへ来る 2008〜2018 年の作品をまとめた第 1 句集。

朝日新聞 2021/01/30

2019.6./ 157p
978-4-89629-360-9
本体 ¥3,080〔税込〕



中原昌也の人生相談〜悩んでるうちが花なのよ党宣言〜

中原 昌也 著
リトル・モア

「携帯やネットがつかなくて堪りません」「会社の飲み会が苦痛です」...。人生の悩みに、天才・中原昌也がクヨクヨして、弱弱しく生きてきた人間にしか出せない答えを返す。悩みを解消する映画も紹介する。

朝日新聞 2021/01/30

2015.6./ 143p
978-4-89815-412-0
本体 ¥1,100〔税込〕



きらめく拍手の音〜手で話す人々とともに生きる〜

イギル・ボラ 著
リトル・モア

音の聞こえないろう者の両親のもとに生まれた、聞こえる子=コード。映画監督、作家で、「コード」である著者が、ろう者と聴者、2 つの世界を行き来しながら生きる葛藤とよこびを、巧みな筆致で綴る。

朝日新聞 2021/01/30

2020.12./ 285p
978-4-89815-532-5
本体 ¥1,980〔税込〕



此处〜句集〜

池田 澄子 著
朔出版

プロメテウスの知らぬ火いかに春寒し よく晴れて人がいっぱい恵方はどっち 子規の忌の月下そよいでいる言の葉 2015 年後半から 2020 年初めまでの 380 句を纏めた第 7 句集。

朝日新聞 2021/01/30

2020.6./ 213p
978-4-908978-45-6
本体 ¥2,860〔税込〕



エレメンツ〜句集〜

鵜田 智哉 著
素粒社

しらはえにあらゆる指を含みたる ぶらんこをからだの骨としてつかふ めくりとるさうい
ふ秋の虹をまた マスクはりついた私があちこちに この部屋が金魚となりの部屋は雨
句集。

朝日新聞 2021/01/30

2020.11./ 125p
978-4-910413-01-3
本体 ¥1,870〔税込〕





相談の森

燃え殻 著

ネコノス

「趣味のない父が心配です」「何もしない息子、心の底から悩んでいます」…。燃え殻さんが、寄せられたさまざまな悩みに、自身も迷いながら「人生をなんとか乗りこなす方法」を伝える。『文春オンライン』連載を書籍化。

朝日新聞 2021/01/30

2020.12./ 221p

978-4-9910614-5-5

本体 ¥1,650〔税込〕



私のテレビ日記～From 2013 To 2020～(Bros.books)

清水 ミチコ 著

東京ニュース通信社

矢野顕子とのツアー、アップルストアでの小芝居、波長が合う定年女子軍団-。清水ミチコが 2013 年から 2020 年までに、発見・驚愕・失笑・感動したできごとを綴る。『TV Bros.』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2021/01/09

2020.12./ 256p

978-4-06-522093-1

本体 ¥1,540〔税込〕



万葉ポピュリズムを斬る

品田 悦一 著

短歌研究社

天皇から庶民の歌まで載っている「万葉集」という作られた幻想-。2019 年、「令和」に込められた万葉歌人・大伴旅人の反体制のメッセージを読み解き、当時の安倍政権の虚構を看破した著者が、万葉ポピュリズムを斬る!

東京・中日新聞 2021/01/10

2020.10./ 213p

978-4-06-520927-1

本体 ¥1,980〔税込〕



みんなの民俗学～ヴァナキュラーってなんだ?～(平凡社新書 960)

島村 恭則 著

平凡社

キャンパスの七不思議やわが家のルール、喫茶店モーニングや B 級グルメなども民俗学の視点で探ることができる。これらの身近なものをヴァナキュラーと読んで、発祥の経緯やその後の広がりをフィールドワークで明らかにする。

東京・中日新聞 2021/01/10

2020.11./ 271p

978-4-582-85960-7

本体 ¥968〔税込〕



安倍・菅政権 vs. 検察庁～暗闘のクロニクル～

村山 治 著

文藝春秋

2016 年に勃発した官邸 vs. 検察庁の人事抗争から、2020 年黒川検事長の定年延長騒動まで、その暗闘の裏側を、極秘情報を駆使して描き出す。インターネット新聞『法と経済のジャーナル』ほか掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2021/01/10、産経新聞 2021/01/17

2020.11./ 287p

978-4-16-391294-3

本体 ¥1,760〔税込〕



こんこん狐に誘われて 田村隆一さんのこと

橋口 幸子 著

左右社

パジャマで歩きまわり、こんこん狐に誘われて酒を飲む-。戦後最大の詩人、天才と呼ばれた田村隆一の家之間借りしていた著者が、彼の飾り気のない「もうひとつの素顔」をリカルな筆致で描き出す。

東京・中日新聞 2021/01/10、読売新聞 2021/01/17

2020.11./ 141p

978-4-86528-003-6

本体 ¥1,870〔税込〕





心にとって時間とは何か(講談社現代新書 2555)

青山 拓央 著
講談社

私はいつ決めたのか。死ぬ権利は、権利なのか。タイムトラベルは不可能か。それは、だれかのせいなのか…。自由、自殺、SF、責任、不死など 8 つのテーマと謎を手掛かりに「心と時間の不思議」に迫る。『本』連載を加筆。

東京・中日新聞 2021/01/16

2019.12./ 237p
978-4-06-518022-8
本体 ¥990〔税込〕



<現在>という謎～時間の空間化批判～

森田 邦久 著
勁草書房

いまこの瞬間、私たちがありありと感じる「時間の流れ」は幻想にすぎないのか？ 哲学者と物理学者がそれぞれの立場に立って真正面から「現在」を論じ、コメント、さらにはリプライの応酬を繰り返す時間論集。

東京・中日新聞 2021/01/16

2019.9./ 8p,310p
978-4-326-10277-8
本体 ¥4,620〔税込〕



暗殺の幕末維新史～桜田門外の変から大久保利通暗殺まで～(中公新書 2617)

一坂 太郎 著
中央公論新社

日本史上、幕末維新期ほど暗殺が頻発した時期はない。大老井伊直弼から内務卿大久保利通に至る国家の中核、外国人、坂本龍馬らの“志士”、市井の人々までが次々と標的となった凄惨な実相と世間の反応を描く。

東京・中日新聞 2021/01/17

2020.11./ 2p,238p
978-4-12-102617-0
本体 ¥902〔税込〕



小説

増田 みず子 著
田畑書店

読むほどに人と人との間の心の綾が身に沁みて、少しでも人生が愛おしくなる。小説ってこういうものだった。長い沈黙を経て到達した著者の新境地。表題作ほか全 13 編を収録する。『季刊文科』『始更』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2021/01/17

2020.11./ 283p
978-4-8038-0376-1
本体 ¥2,200〔税込〕



ベートーヴェン 一曲一生

新保 祐司 著
藤原書店

なぜベートーヴェンは近代を、そして現代を超えるのか？ 新型コロナ禍による異常な 100 日間、ベートーヴェンの作品を 1 日 1 曲、ほぼ全て聴き尽くした著者が、「天才」の本質に迫る批評集。

東京・中日新聞 2021/01/17

2020.11./ 262p
978-4-86578-291-2
本体 ¥2,750〔税込〕



スマホで見る阪神淡路大震災～災害映像がつむぐ未来への教訓～

木戸 崇之／朝日放送テレビ 著
西日本出版社

1995 年 1 月 17 日に起こった阪神淡路大震災の発生の瞬間から復興プロセスまでを記録し続けた朝日放送のカメラ。その中から選んだ 357 の映像が見られる QR コードを掲載し、当時の時代背景や現場の状況を文章で補足する。

東京・中日新聞 2021/01/17

2020.12./ 219p
978-4-908443-56-5
本体 ¥1,650〔税込〕





ダーウィンが愛した犬たち～進化論を支えた陰の主演～

エマ・タウンゼンド 著

勁草書房

進化理論の根幹を支えたのは、ガラパゴスの動物でなく、愛犬達だった! 「種の起源」には、動物好きのイギリス社会を意識したレトリックが仕込まれていた! 愛犬の視点で、ダーウィンの犬大好き人生と発想の秘密を語る。

東京・中日新聞 2021/01/24

2020.12./ 190p

978-4-326-75057-3

本体 ¥2,200〔税込〕



ヤクザと過激派が棲む街

牧村 康正 著

講談社

なぜヤクザと過激派は、日雇い労働者たちのオアシス「山谷」で全面衝突を余儀なくされたのか。ヤクザに存在意義はあるのか。左翼活動家に大義はあったのか。1983年の「金町戦」あるいは「金町戦争」と呼ばれる血の記録。

東京・中日新聞 2021/01/31

2020.11./ 334p

978-4-06-521675-0

本体 ¥1,980〔税込〕



消えた甲子園～2020 高校野球僕らの夏～

朝日放送テレビ「2020 高校野球 僕らの夏」取材班 著

集英社

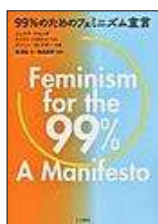
新型コロナウイルスの影響で史上初めて春・夏の甲子園が共に中止となった 2020 年。未曾有の事態の中、「それぞれの甲子園」に向け、奮闘する球児たちを追ったドキュメント。朝日放送テレビ番組の取材をもとに書籍化。

東京・中日新聞 2021/01/31

2020.12./ 221p

978-4-08-788051-9

本体 ¥1,540〔税込〕



99%のためのフェミニズム宣言

シンジア・アルッザ／ティティ・バタチャーリヤ／ナンシー・フレイザー 著

人文書院

1%の富裕層ではなく、「99%の私たち」のために、性差別・人種主義・環境破壊のない社会を。アメリカを主な拠点とする3名のフェミニストが、性の抑圧をもたらす現代資本主義の終焉を呼びかける。

東京・中日新聞 2021/01/31

2020.10./ 169p

978-4-409-24135-6

本体 ¥2,640〔税込〕



戦艦大和ノ最期(講談社文芸文庫 Wide よ B1)

吉田 満 著

講談社

片道燃料のみで出撃し、孤立無援の中、巨体四裂し大海に没した「戦艦大和」。奇跡の生還を果たした若き士官が撃沈の記録を綴った、不朽の叙事詩。小林秀雄、三島由紀夫、吉川英治らの跋文も収録する。

読売新聞 2021/01/10

2016.7./ 217p

978-4-06-295506-5

本体 ¥1,100〔税込〕



東京藝大仏さま研究室(集英社文庫 き 24-1)

樹原 アンミツ 著

集英社

学生も教授も少し変わった人ばかり。そんな東京藝術大学で、仏像の保存について研究する「仏さま研究室」の修了課題はなかなか過酷で学生泣かせ。様々な思いを抱え、真心を込めながらも「模刻」に悪戦苦闘する学生たちを描く。

読売新聞 2021/01/10

2020.10./ 331p

978-4-08-744172-7

本体 ¥748〔税込〕





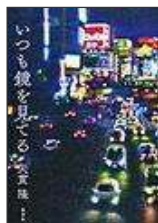
江戸川乱歩と横溝正史(集英社文庫 な 69-1)

中川 右介 著
集英社

日本の探偵小説を牽引した 2 大巨頭、江戸川乱歩と横溝正史。太陽と月にも喩えられる日本文学史上稀な関係はどのように生まれ、育まれたのか。2 人の大作家の歩みを辿りながら日本の出版史をも描き出す対比評伝。

読売新聞 2021/01/10

2020.12./ 510p
978-4-08-744190-1
本体 ¥968〔税込〕



いつも鏡を見てる

矢貫 隆 著
集英社

オイルショックからバブル経済、新型コロナウイルスまで。昭和、平成、令和の 3 時代を通じ、常に時代に翻弄されて、走り続けるタクシードライバーたちのドラマチックな人生ドキュメント。

読売新聞 2021/01/10

2020.12./ 269p
978-4-08-788049-6
本体 ¥1,760〔税込〕



贖罪(新潮文庫 マ-28-5)

イアン・マキューアン 著
新潮社

まだ戦争が始まる前、地方の旧家で暮らしていた私にとって、世界は無限に開けていた。あの暑い夏の日が来るまでは。いくつかの誤解、取り返しのかねぬ事件、戦争と欺瞞。無垢な少女が狂わせてしまった生を描く大河小説。

読売新聞 2021/01/10

2019.1./ 637p
978-4-10-215725-1
本体 ¥924〔税込〕



世の中と足並みがそろわない

ふかわ りょう 著
新潮社

「ポスト出川」から舵を切った 30 歳、誰も触れなくなった「結婚」のこと、アイスランドで感じた死生観…。世の中との隔たりと向き合う“隔たリスト”ふかわりょうが、不器用すぎる歪な日常を描く。

読売新聞 2021/01/10

2020.11./ 219p
978-4-10-353791-5
本体 ¥1,485〔税込〕



獅子座、A 型、丙午。

鈴木 保奈美 著
中央公論新社

わき起こる驚き・怒り・負けじ魂。ささやかな事件・出来事も、女優・鈴木保奈美の心の中で宇宙的な大問題に。ユーモアたっぷり、毒も少々。本音・本気のエッセー集。『婦人公論』連載を書籍化。

読売新聞 2021/01/10

2020.12./ 236p
978-4-12-005360-3
本体 ¥1,540〔税込〕



金曜日の本(中公文庫 よ 39-7)

吉田 篤弘 著
中央公論新社

子どもの頃の僕は、「無口で」「いつも本を読んで」と周りの大人は口を揃える。小説家にして装幀家の著者の少年時代が描かれたエッセー集。書き下ろし「九人のおじさん」を加えて文庫化。

読売新聞 2021/01/10

2020.12./ 157p
978-4-12-207009-7
本体 ¥638〔税込〕





家族と社会が壊れるとき(NHK 出版新書 642)

是枝 裕和／ケン・ローチ 著

NHK出版

コロナ禍で拍車がかかる分断と格差をいかに乗り越えるか。貧困や差別に苦しむ家族や人々を撮り続けてきた日英映画界の巨匠ふたりが、深い洞察と想像力で読み解く。NHK 番組に追加取材、加筆して新書化。

読売新聞 2021/01/10

2020:12./ 205p

978-4-14-088642-7

本体 ¥880〔税込〕



平凡パンチの三島由紀夫 VR 的完全版

椎根 和 著

河出書房新社

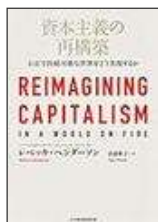
1968 年、『平凡パンチ』編集者の著者は、スーパースター三島由紀夫の担当となり、割腹自決までの 3 年間、肉体と精神の素顔や、「楯の会」の秘事を間近で見ていた。文豪の知られざる素顔に迫った迫真のノンフィクション。

読売新聞 2021/01/10

2020:12./ 599p

978-4-309-92219-5

本体 ¥3,300〔税込〕



資本主義の再構築～公正で持続可能な世界をどう実現するか～

レベッカ・ヘンダーソン 著

日本経済新聞出版社

大規模な環境破壊、経済格差、信頼できる社会的な仕組みの崩壊という現代社会の大問題の解決のために、企業や個人はどのような役割を果たせるのか。資本主義を創り直すための体系的な枠組みを提示する。

読売新聞 2021/01/10

2020:10./ 363p

978-4-532-35869-3

本体 ¥2,420〔税込〕



サイバークレートゲーム～政治・経済・技術とデータをめぐる地政学～

土屋 大洋 著

千倉書房

各国の経済活動、民主主義に対するサイバー攻撃は常態化しつつあるが、そこには地政学的リスクが色濃く現れている。安全保障、選挙介入、サプライチェーン、外交など各分野に迫る危機の実情を分析する。

読売新聞 2021/01/10

2020:12./ 14p,201p

978-4-8051-1223-6

本体 ¥3,740〔税込〕



医療現場は地獄の戦場だった!～日本人医師がアメリカで体験したコロナ禍の緊急レポート～

井上 理津子／大内 啓 著

ビジネス社

ボストン在住の日本人医師が、新型コロナウイルス感染症の罹患者たちが大量に搬送されてくる病院の救急部において、命懸けで手当てに当たったリアルを振り返る。自身の歩いてきた道やアメリカの医療制度なども記す。

読売新聞 2021/01/10

2020:11./ 202p

978-4-8284-2237-4

本体 ¥1,540〔税込〕



死ぬまでに行きたい海

岸本 佐知子 著

スイッチ・パブリッシング

焚火の思い出、猫の行方、魅かれる山…。出不精を自認する著者が、それでも気になるあれこれに誘われ、気の向くままに出かけて綴った、新しくどこか懐かしい見聞録。全 22 篇を収録する。『MONKEY』連載を単行本化。

読売新聞 2021/01/10

2020:12./ 189p

978-4-88418-543-5

本体 ¥1,980〔税込〕





路上のポルトレ～憶いだす人びと～

森まゆみ 著

羽鳥書店

忘れ得ぬ人の記憶をたなごころですくい、そっと温めるように書いておきたい。作家、思想家から市井に生きる人まで、長年にわたり出会った人びとを回想するエッセイ集。『小説すばる』ほか掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2021/01/10

2020:12./ 328p,4p

978-4-904702-83-3

本体 ¥2,420〔税込〕



復興建築～モダン東京をたどる建物と暮らし～(味なたてもの探訪)

トゥーヴァー・ジンズ

関東大震災後に生まれた「モダン東京」の街と建物から、都市の熱気、人々の思いが見えてくる。変わり続ける東京の“原点”を知る、1920～30年代の復興建築 130 以上を収録する。建築 MAP 付き。

読売新聞 2021/01/10

2020:12./ 191p

978-4-908406-64-5

本体 ¥2,090〔税込〕



テレワーク時代の「心のケア」マネジメント～労務管理者必読～

和田 隆 著

方丈社

7分間の「1on1 ラインケア」でテレワーカーのメンタルリスクは回避できる! 社員の健康を守り、社員のパフォーマンスを高めるために、いま会社がすべき「心のケア」の勘所を提案する。

読売新聞 2021/01/10

2020:10./ 198p

978-4-908925-67-2

本体 ¥1,650〔税込〕



叛逆老人は死なず

鎌田 慧 著

岩波書店

安保法制、沖縄、原発、冤罪、労働…。デモに行っても「老人」ばかり。それでもいいじゃないか。80 歳超のルポライターが、いのちのために闘う誇り高き叛逆老人同志に熱いエールを送る。『サンデー毎日』ほか掲載を書籍化。

読売新聞 2021/01/17

2019:12./ 17p,180p

978-4-00-024490-9

本体 ¥2,090〔税込〕



福澤諭吉の思想的格闘～生と死を超えて～

松沢 弘陽 著

岩波書店

一身にして二生を経る激動の時代を生きた福澤諭吉は、生涯を通じて何を指して闘ったのか。天国も死後の生も信じなかった福澤が後世に託したものは何か。福澤の思想的格闘を辿り、その意味を徹底的に追究する。

読売新聞 2021/01/17

2020:11./ 9p,419p,9p

978-4-00-061435-1

本体 ¥10,450〔税込〕



化け者心中

蟬谷 めぐ実 著

KADOKAWA

時は文政、所は江戸。鳥屋を営む藤九郎と稀代の女形として人気を誇った元役者・魚之助。ふたりの鬼暴きの道行きは、傾奇者たちが命と鎬を削る、苛烈な芸の世界の地獄めぐりで…。『小説野性時代』掲載を加筆し書籍化。

読売新聞 2021/01/17

2020:10./ 285p

978-4-04-109985-8

本体 ¥1,815〔税込〕





生きる力～引き算の縁と足し算の縁～

笠井 信輔 著

KADOKAWA

56 歳で会社を辞め、フリーアナウンサーになった直後、悪性リンパ腫であることが発覚した著者。果てしないどん底でも、なぜ前を向いて生きられたのか。病気や人生のつらさを「足し算」に変える生き方のヒントを伝える。

2020.11./ 289p

978-4-04-109999-5

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



苦海浄土～わが水俣病～ 新装版(講談社文庫)

石牟礼 道子 著

講談社

工場廃水の水銀が引き起こした文明の病・水俣病。この地に育った著者は、患者とその家族の苦しみを自らのものとして、壮絶かつ清冽な記録を綴った。本作は、世に出て三十数年を経たいまなお、極限状況にあっても輝きを失わない人間の尊厳を訴えてやまない。末永く読み継がれるべき“いのちの文学”の新装版。

2004.7./ 416p

978-4-06-274815-5

本体 ¥836〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



ツベルクリンムーチョ(講談社文庫 The cream of the notes も 28-77 9)

森 博嗣 著

講談社

社会からも人からも、いつも多めに距離を取っている作家の目から見たコロナ禍の日本とは。もやもやしていたことが一気にクリアに見えてくる、人生が生きやすくなる言葉に満ちた、明快エッセイ 100 編を収録。

2020.12./ 233p

978-4-06-521084-0

本体 ¥682〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



その果てを知らず

眉村 卓 著

講談社

SF 黎明期、そして未来-。今から 60 年以上前、文芸の道を志し、SF 同人誌等に作品を投稿し始めた会社員の浦上映生。会社員を続けながらの執筆はどのように続いていたのか。日本 SF 第一世代として活躍した眉村卓の遺作。

2020.10./ 249p

978-4-06-521202-8

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



「日本の伝統」の正体(新潮文庫 ふ-59-1)

藤井 青銅 著

新潮社

「日本の伝統」はいつ、いかにして創られ、私たちはどのようにして、受け入れてきたのか。初詣、神前結婚式、恵方巻、大安・仏滅、三世代同居など、さまざまな「伝統」を取り上げ、その成り立ちなどを明らかにする。

2021.1./ 286p

978-4-10-102481-3

本体 ¥649〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



43 回の殺意～川崎中 1 男子生徒殺害事件の深層～(新潮文庫 い-99-9)

石井 光太 著

新潮社

2015 年 2 月 20 日、神奈川県川崎市の多摩川河川敷で 13 歳の少年の全裸遺体が発見された。事件から 1 週間、逮捕されたのは 17 歳と 18 歳の未成年 3 人だった…。少年たちはなぜ地獄へと向かったのかを追うルポルタージュ。

2021.1./ 357p

978-4-10-132539-2

本体 ¥737〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



しのぶ恋〜浮世七景〜

諸田 玲子 著

文藝春秋

安藤広重「目黒太鼓橋夕日の岡」、葛飾北斎「百物語さらやしき」など、浮世絵の名作に材を取った短篇 7 本を収録。男と女、出会いと別れ。喜怒哀楽の表情を濃密に描く。『オール讀物』掲載をまとめて単行本化。

読売新聞 2021/01/17

2020.12./ 266p

978-4-16-391306-3

本体 ¥1,760〔税込〕



風の谷のナウシカ<7>(アニメージュ・コミックス・ワイド判)

宮崎 駿 著

徳間書店

読売新聞 2021/01/17

1995.1./ 223p

978-4-19-770025-7

本体 ¥605〔税込〕



ノーマンズランド(光文社文庫 [姫川玲子シリーズ] ほか4-16)

菅田 哲也 著

光文社

マンションで女子大生が殺害される。特捜本部入りした姫川玲子班だが、容疑者として浮上した男はすでに別件で逮捕されていた。遮断される情報。20 年前の少女失踪事件との関わりは? 幾重にも隠蔽された驚くべき真相とは…。

読売新聞 2021/01/17

2020.11./ 460p

978-4-334-79106-3

本体 ¥858〔税込〕



釣りキチ三平の夢〜矢口高雄外伝〜

藤澤 志穂子 著

世界文化社

2020 年 11 月に急逝した「釣りキチ三平」で知られるマンガ家、矢口高雄。元新聞記者の著者が 30 回以上に渡り矢口にインタビュー。秋田及びマンガ界関係者の証言も集め、矢口が駆け抜けてきた昭和〜令和の時代を見つめる。

読売新聞 2021/01/17

2020.12./ 239p

978-4-418-19501-5

本体 ¥1,760〔税込〕



オレンジだけが果物じゃない(白水Uブックス 176)

ジャネット・ウィンターソン 著

白水社

狂信的なキリスト教徒の母から特殊な英才教育を受けて育ったジャネットは、幼くして説教壇に立つようになる。しかし、初めて恋を知った彼女には、恐るべき「受難」が待っていた…。奇想とアイロニーに満ちた半自伝的小説。

読売新聞 2021/01/17

2011.9./ 295p

978-4-560-07176-2

本体 ¥1,540〔税込〕



和紙ってなに?<1> 東日本の和紙

和紙ってなに?編集室 編

理論社

日本で古くから地元の素材を使って作られてきた和紙。1 は、北海道から中部まで、東日本のさまざまな手すき和紙を、歴史・原料・用途といったデータや写真とともに紹介する。和紙とかかわりの深い郷土玩具なども掲載。

読売新聞 2021/01/17

2020.10./ 47p

978-4-652-20397-2

本体 ¥3,300〔税込〕





和紙ってなに?<2> 西日本の和紙

和紙ってなに? 編集室 編
理論社

日本で古くから地元の素材を使って作られてきた和紙。2 は、近畿から沖縄まで、西日本のさまざまな手すき和紙を、歴史・原料・用途といったデータや写真とともに紹介する。和紙とかかわりの深い郷土玩具なども掲載。

2020.10./ 47p
978-4-652-20398-9
本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



プロデュースの基本(インターナショナル新書 062)

木崎 賢治 著
集英社インターナショナル

沢田研二から BUMP OF CHICKEN まで手掛けた名音楽プロデューサーが、あらゆる職種に応用自在の仕事術を伝授。自身の経験から編み出した役立つ法則の数々を披露し、クリエイティブであるための心得なども説く。

2020.12./ 233p, 19p
978-4-7976-8062-1
本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



つげ義春〜「ガロ」時代〜

正津勉 著
作品社

「不思議な絵」「紅い花」「李さん一家」など、漫画家・つげ義春が『ガロ』に発表した主要作を8つのテーマに分け、克明に読解する。ウェブ・マガジン『neoneo』連載を大幅に改稿し書籍化。

2020.11./ 221p
978-4-86182-828-7
本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



離島の本屋<ふたたび> 大きな島と小さな島で本屋の灯りをともし人たち

朴 順梨 著
ころから

消えかけた本屋の灯りを再びともした島民、島のつらい歴史を伝える本を売り続ける心意気、そして、閉じる決断をした本屋たちとの出会い…。島の本屋を巡る旅。フリーペーパー『LOVE 書店!』等連載を書籍化。

2020.10./ 128p
978-4-907239-47-3
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



世界のひきこもり〜地下茎コスモポリタニズムの出現〜

ぼそっと池井多 著
寿郎社

ひきこもりは社会に置いていかれたのか、社会を見限ったのか。ひきこもり歴 35 年、「世界ひきこもり機構」を創設した 50 代の著者が、インターネットで行なった海外のひきこもりやその支援者との対話をまとめる。

2020.10./ 287p
978-4-909281-29-6
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



近頃なぜか岡本喜八〜反戦の技法、娯楽の思想〜

山本 昭宏 編
みずき書林

痛烈な戦争体験を抱え、フマジメな余計者として「カッコイイ戦争」に抗い続けた映画監督・岡本喜八。彼の作品を公開当時の時代に置き直し、その表象と主題、観客たちの受容を分析。戦後社会の多様な側面を浮き彫りにする。

2020.9./ 312p
978-4-909710-13-0
本体 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2021/01/17



エデュケーション～大学は私の人生を変えた～

タラ・ウェストバー 著

早川書房

モルモン教サバイバルリストの両親のもとに生まれたタラは、学校にも行けず、医療機関も受診せずに育つ。10代半ばに、大学に通うことを決意し、独学で大学資格試験に合格し…。壮絶な人生の回顧録。

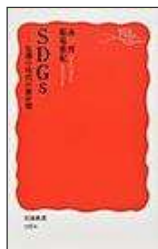
2020.11./ 509p

978-4-15-209946-4

本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/01/17、産経新聞 2021/01/31



SDGs～危機の時代の羅針盤～(岩波新書 新赤版 1854)

南 博、稲場 雅紀 著

岩波書店

2030年の期限まで10年を切り、貧困や格差、環境破壊等の慢性的危機に加え、パンデミック危機の今その真価が問われているSDGs。日本政府の元交渉官とNGO代表とがSDGsの概要、交渉秘話、実践と展望を紹介する。

2020.11./

11p,220p,18p

978-4-00-431854-5

本体 ¥902〔税込〕



読売新聞 2021/01/17、東京・中日新聞 2021/01/31



デカメロン 2020

イタリアの若者たち 著

方丈社

2020年3月、新型コロナウイルスの猛襲を受けロックダウンが発令されたイタリアで、24人の若者たちが語り始めた。3月10日から5月27日までの、彼らの言葉をまとめた記録集。本体は背表紙なし糸綴じ。

2020.12./ 253p

978-4-908925-69-6

本体 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2021/01/17、毎日新聞 2021/01/23



服のはなし～着たり、縫ったり、考えたり～

行司 千絵 著

岩波書店

わたしの気持ち。他人の視線。装うことへの圧と悩み。おしゃれの迷い道をさまよった末、新聞記者の仕事のかたわら服を手づくりするようになった著者が、社会や自身にとっての服の意味を探る。

2020.12./ 8p,172p,2p

978-4-00-061443-6

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



人は見た目!と言うけれど～私の顔で、自分らしく～(岩波ジュニア新書 926)

外川 浩子 著

岩波書店

脱毛症、小耳症…。講演等を通し「人生は見た目ではなく、人と人とのつながりで決まる」と伝える著者が、見た目を理由とする差別や偏見で生じる「見た目問題」について綴った書。当事者達の体験から見た目と生き方を問い直す。

2020.11./ 11p,208p

978-4-00-500926-8

本体 ¥946〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



自由意志の向こう側～決定論をめぐる哲学史～(講談社選書メチエ 737)

木島 泰三 著

講談社

運命はあるのか? 人間と機械は何が違うのか? こうした疑問は全て人間の自由意志の問題であり、決定論の哲学史に刻まれている。ダーウィンや神経科学など自然科学的観点も検討しつつ、決定論のこれまでとこれからを考える。

2020.11./ 429p

978-4-06-521771-9

本体 ¥2,475〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



一発屋芸人列伝(新潮文庫 や-84-1)

山田ルイ53世 著

新潮社

「消えた」「死んだ」と揶揄されがちな一発屋。彼らは今この瞬間も、精一杯足掻きながら生きている。一度掴んだ栄光を手放した人間の“その後”に、「髭男爵」の山田ルイ53世が迫る。

読売新聞 2021/01/24

2020:12./ 308p

978-4-10-102461-5

本体 ¥649〔税込〕



白い巨塔<1>(新潮文庫)

山崎 豊子 著

新潮社

読売新聞 2021/01/24

2002:11./ 422p

978-4-10-110433-1

本体 ¥737〔税込〕



警官の血<上巻>(新潮文庫)

佐々木 譲 著

新潮社

読売新聞 2021/01/24

2009:12./ 474p

978-4-10-122322-3

本体 ¥781〔税込〕



警官の血<下巻>(新潮文庫)

佐々木 譲 著

新潮社

読売新聞 2021/01/24

2009:12./ 467p

978-4-10-122323-0

本体 ¥781〔税込〕



国道16号線〜「日本」を創った道〜

柳瀬 博一 著

新潮社

横須賀、横浜、町田、八王子、川越、柏、木更津。首都圏をぐるり、330 キロの国内一混雑する「国道16号線」エリアは、日本史上、常に重要な地域であり続けた。「道」と「地形」で読み解く日本論。

読売新聞 2021/01/24

2020:11./ 230p

978-4-10-353771-7

本体 ¥1,595〔税込〕



女将は見た温泉旅館の表と裏(文春文庫 や 74-1)

山崎 まゆみ 著

文藝春秋

温泉旅館に行くとき笑顔で出迎えてくれる女将たち。接客のプロは日々、何を見ているのか。女将の一日密着取材、本音炸裂の座談会、経費削減や好感度アップの所作、湯治場の恋、混浴の掟など蔵出しエピソードが満載。

読売新聞 2021/01/24

2020:12./ 221p

978-4-16-791620-6

本体 ¥715〔税込〕





エチオピア高原の吟遊詩人〜うたに生きる者たち〜

川瀬 慈 著

音楽之友社

王侯貴族お抱えの楽師、戦場で兵士を鼓舞する係、祝祭を盛り上げるコメディアン…。エチオピアで音楽を職能として生きる吟遊詩人たちの活動、生きざまを追う。エチオピア音楽文化の動態を立体的に伝える一冊。

2020.10./ 247p

978-4-276-13571-0

本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



モヤモヤしている女の子のための読書案内(14歳の世渡り術)

堀越 英美 著

河出書房新社

他人に打ち明けづらいモヤモヤを抱えているなら、周囲に知られることなく多様な価値観に触れられる「読書」がおすすめ。「いい子」のふりをするにうんざりしている女の子のために、44の悩み別に心が軽くなる本を紹介。

2020.11./ 216p

978-4-309-61726-8

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



ワイルドでいこう疾走する車いす(祥伝社文庫 み 19-2)

宮津大蔵 著

祥伝社

私、千絵には先天的な身体障がいがある。ある日、仲間のフジタが障がい者プロレスで闘う姿に触発され、私もリングに上がりたくなくて。障がいとともに生きる人々の疾走する「生」を描いた傑作小説。

2020.12./ 348p

978-4-396-34693-5

本体 ¥792〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



ルポ入管〜絶望の外国人収容施設〜(ちくま新書 1521)

平野 雄吾 著

筑摩書房

医療放置、自殺、餓死…いったい、入管施設で何が起きているのか。2019年に出入国在留管理庁へと格上げされ、ますます大きな権力を振るう「入管」の知られざる実態に迫る。共同通信配信記事をもとに書籍化。

2020.10./ 314p

978-4-480-07346-4

本体 ¥1,034〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



特務(Special Duty)〜日本のインテリジェンス・コミュニティの歴史〜

リチャード・J・サミュエルズ 著

日本経済新聞出版社

「ファイブ・アイズ」加盟か、情報機関の再構築か。明治から敗戦、冷戦時代、現代まで、日本の100年におよぶインテリジェンス・コミュニティの歴史を考察。直近の改革が日本の安全保障にもたらし得る結果を明らかにする。

2020.12./ 499p

978-4-532-17686-0

本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



じい散歩

藤野 千夜 著

双葉社

明石家は夫婦あわせてもうすぐ180歳。3人の息子は全員独身で…。家族の可笑しみ、さりげない優しさを描き出した、現代家族小説。『小説推理』『文藝界』掲載を単行本化。

2020.12./ 269p

978-4-575-24357-4

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/01/24



日本人建築家が建てた、海外の美しい建築

パイ インターナショナル 編

パイインターナショナル

エストニア国立博物館、ニューヨーク近代美術館、台中国家歌劇院、紙の聖堂、シンガポールフライヤー、天津図書館…。若手から大御所まで、日本の有名建築家が手掛けた、海外の美しい建築物を紹介します。

読売新聞 2021/01/24

2020/10./ 118p

978-4-7562-5421-4

本体 ¥2,035〔税込〕



* 9 7 8 4 7 5 6 2 5 4 2 1 4 *



アナキスト本をよむ

栗原 康 著

新評論

書評とはアナキズムである。アナキズムとはなにものにも支配されない。現代最強/兇/狂の文人が、2003～2020年に綴った書評、映画評、本をめぐるエッセイなどを集成。安藤礼二、守中高明との対談も収録する。

読売新聞 2021/01/24

2020/12./ 310p

978-4-7948-1167-7

本体 ¥2,420〔税込〕



* 9 7 8 4 7 9 4 8 1 1 6 7 7 *



1日1話、読めば心が熱くなる 365人の仕事の教科書

藤尾秀昭 著

致知出版社

稲盛和夫、王貞治、佐藤可士和、羽生善治、平尾誠二、山中伸弥…。『致知』に掲載した、各界各様、それぞれの仕事を真剣に生きる人々たちへのインタビューから 365 人の言葉を選び出してまとめる。

読売新聞 2021/01/24

2020/11./ 422p

978-4-8009-1247-3

本体 ¥2,585〔税込〕



* 9 7 8 4 8 0 0 9 1 2 4 7 3 *



詩活の死活～この時代に詩を語るとのこと～

谷川 俊太郎、田 原、山田 兼士 著

澤標

谷川俊太郎、田原、山田兼士が行った、大阪芸術大学特別講義、大阪芸術大学文芸学科特別講義、大阪文学学校特別講座や、第 11 回三好達治賞授賞式第 2 部の谷川俊太郎・山田兼士の対談などを収録。

読売新聞 2021/01/24

2020/10./ 370p

978-4-86078-487-4

本体 ¥2,530〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 0 7 8 4 8 7 4 *



中国人の食文化ガイド～心と身体の免疫力を高める秘訣～ 愛蔵版

熊 四智、日中翻訳学院、山本 美那子 著

日本僑報社

「ご飯食べた？」があいさつ言葉になる中国人は、「食」に対して人生哲学とも呼べるものを抱き、「食」を愛している。宴会の歴史、豆腐の起源、食と免疫力など様々な角度から中国の食を考察。健康や中国食文化研究に役立つ書。

読売新聞 2021/01/24

2020/11./ 380p

978-4-86185-300-5

本体 ¥3,960〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 1 8 5 3 0 0 5 *



笑って、バイバイ!

たかの てるこ 著

テルブックス

読売新聞 2021/01/24

2020/10./ 67p

978-4-9910238-2-8

本体 ¥550〔税込〕



* 9 7 8 4 9 9 1 0 2 3 8 2 8 *



よるこびの日～ワルシャワの少年時代～(岩波少年文庫)

I. B. シンガー、工藤 幸雄 著

岩波書店

古き良きワルシャワを舞台に、ユダヤ人の少年が貧しいながらも好奇心をかかえて成長する姿を静かなユーモアをまじえて描く、ノーベル賞作家シンガーの少年時代を語る自伝的作品。

1990:7./ 321p

978-4-00-112100-1

本体 ¥924〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



たべる生活

群ようこ 著

朝日新聞出版

日々の料理に手はかけず、でも栄養バランスはきっちりと。とにかく、人間の体は食べた物でできている。ゆるく、かろやかに生きていくための「食」エッセイ。『一冊の本』連載を加筆し書籍化。

2020:11./ 228p

978-4-02-251731-9

本体 ¥1,430〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



戦争は女の顔をしていない<1>

小梅 けいと／スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著

KADOKAWA

「一言で言えば、ここに書かれているのはあの戦争ではない」……500 人以上の従軍女性を取材し、その内容から出版を拒否され続けた、ノーベル文学賞受賞作家の主著。『狼と香辛料』小梅けいとによるコミカライズ。

2020:1./ 188p

978-4-04-912982-3

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



戦争は女の顔をしていない<2>

小梅 けいと／スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著

KADOKAWA

500 人以上の従軍女性を取材し、その内容から出版を拒否され続けた、ノーベル文学賞受賞作家の主著。『狼と香辛料』小梅けいとによるコミカライズ、第 2 巻が登場。

2020:12./ 182p

978-4-04-913595-4

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



今度生まれたら

内館 牧子 著

講談社

夫の寝顔を見ながら「今度生まれたら、この人とは結婚しない」とつぶやいた 70 歳の夏江。何の不満もない老後だが、人生の選択はこれでよかったのかと自らに問い…。「終わった人」「すぐ死ぬんだから」に続く「老後」小説。

2020:12./ 282p

978-4-06-521872-3

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



バグダードのフランケンシュタイン

アフマド・サアダーウィー／柳谷 あゆみ 著

集英社

連日自爆テロの続く 2005 年のバグダード。吹き飛んだ遺体の残骸から生み出された怪物は、自分に死をもたらした者どもに復讐を誓い、混沌の夜を駆け巡る。国家と社会を痛烈に皮肉るエンタテインメント群像劇。

2020:10./ 396p

978-4-08-773504-8

本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



荒野の古本屋(小学館文庫 も 27-1)

森岡 督行 著

小学館

散歩と読書三昧の青年が神田神保町の老舗古書店に飛び込み、波乱の修業時代を経て、個性的な古書店を開業した。前代未聞の「一冊の本だけを売る書店」として注目を集める森岡書店を成功させるまでをリリカルに描く。

2021.1./ 237p

978-4-09-406861-0

本体 ¥616〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



さのよいよい

戊井 昭人 著

新潮社

32 年前の放火殺人を探るうち、神がかった先生のご託宣や家族の秘密が炙り出され、おのれの不甲斐なさも思い知らされることになり…。本当の事件から生まれた「炎上」小説。『波』連載を改題・加筆し単行本化。

2020.12./ 205p

978-4-10-317824-8

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



リノベ暮らしはじめました

たかはし みき 著

新潮社

こだわったのは、自分らしい空間。理想の住まいづくりを、追体験してみませんか？ 物件探し、予算調整、工事中のトラブル…。知識ゼロからの中古マンション+リノベーション体験を描いたコミックエッセイ。

2020.10./ 159p

978-4-10-335693-6

本体 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



読売新聞「シングルススタイル」編集長は、独身・ひとり暮らしのページをつくっています。

森川 暁子 著

中央公論新社

クリスマスや年末年始は「家族の時間」。独身・ひとり暮らしのみなさんはどうしていますか？ 「ひとりの年末年始」「オンライン婚活」「ソロウェディング」を特集した異色の『読売新聞』連載「シングルススタイル」を書籍化。

2020.12./ 255p

978-4-12-005358-0

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



はやぶさ2 最強ミッションの真実(NHK 出版新書 639)

津田 雄一 著

NHK出版

過酷な開発工程と想定外ばかりの運用を乗り越えて、小惑星への 2 度の着陸など数々の“世界初”を成功させた「はやぶさ 2」。プロジェクトの若きリーダーがその舞台裏を赤裸々に語る、スリル満点の冒険録。

2020.11./ 270p

978-4-14-088639-7

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



<脳と文明>の暗号～言語と音楽、驚異の起源～(ハヤカワ文庫 NF 566)

マーク・チャンギージ 著

早川書房

1 万にのぼるクラシック音楽の主題旋律を分析して浮かび上がった驚くべき事実-音楽は人間の歩行を模倣している！ 理論神経科学者が、「サルはいかにしてヒトへと進化したのか」という人類史上最大の謎を聴覚系を糸口に解く。

2020.12./ 377p

978-4-15-050566-0

本体 ¥1,232〔税込〕



読売新聞 2021/01/31



京都一乗寺美しい書店のある街で(光文社文庫 お 33-7)

大石 直紀 著

光文社

一乗寺に佇む、緑色の扉が印象的な書店。そこは訪れた人に様々な出会いを授ける。記憶を亡くした少女、かつての恋人たち、母を捜す娘。儚く美しい京都ミステリ 4編。『小説宝石』他掲載に書下ろしを加え文庫化。

読売新聞 2021/01/31

2020.12./ 289p

978-4-334-79129-2

本体 ¥748〔税込〕



証言 天安門事件を目撃した日本人たち～「一九八九年六月四日」に何が起こったのか～

六四回顧録編集委員会 編

ミネルヴァ書房

中国現代史の転換点となった1989年6月の天安門事件。当時北京にいた日本人は何を考え、何を見て、いかに行動したのか。駐在武官、日本国大使館員、ジャーナリストらが、事件の秘話や個人の体験を綴る。

読売新聞 2021/01/31

2020.10./

17p,300p,4p

978-4-623-08992-5

本体 ¥3,520〔税込〕



百姿繚乱～嵐圭史舞台生活 70 年～

嵐 圭史 著

本の泉社

俳優は「肉体の表現者」。多様な役々に挑み続けたその姿は、まさに百姿繚乱。長く「前進座」の大看板だった嵐圭史の、舞台生活七十年を記念した写真集。歌舞伎や近代劇、文芸・大衆劇などの舞台写真を収録する。

読売新聞 2021/01/31

2020.8./ 98p

978-4-7807-1972-7

本体 ¥2,970〔税込〕



私流演技とは～わが役者人生の歩みとともに～

嵐 圭史 著

本の泉社

舞台生活 70 年、長く劇団前進座の大看板を勤め、歌舞伎から現代劇まで数々の名舞台で知られる嵐圭史が、自身の役者人生の歩みとともに、演劇創造の過程を鮮やかに綴る。

読売新聞 2021/01/31

2020.9./ 221p

978-4-7807-1977-2

本体 ¥1,870〔税込〕



芸術の脱定義

ハロルド・ローゼンバーグ、桑田 光平、桑名 真吾 著

水声社

1960年代～70年代初頭の現代美術の動向を、「脱定義」に基づいて批評したエッセイ集。「アクション・ペインティング」という概念を生み、サルトルやドゥルーズにも影響を与えた美術批評家が、戦後の美術の動向を追う。

読売新聞 2021/01/31

2020.9./ 305p

978-4-8010-0484-9

本体 ¥3,520〔税込〕



いつか中華屋でチャーハンを

増田 薫 著

スタンド・ブックス

中華屋のカレーって誰が食べてる？ 知らなかった世界が近所の中華屋に広がっていて…。大阪のあんかけカツ丼、京都のラーメン屋の唐揚げなど、定番メニューから一歩外れた先にある「美味」を求めて描くグルメ漫画エッセイ。

読売新聞 2021/01/31

2020.12./ 255p

978-4-909048-10-3

本体 ¥1,760〔税込〕





「小さな鉄道」の記憶～軽便鉄道・森林鉄道・ケーブルカーと人びと～

旅の文化研究所 編

七月社

主要都市を結ぶ鉄道の網目からもれた地域に、人びとは細い線路を敷き、そこに小さな列車を走らせた。軽便鉄道、森林鉄道、ケーブルカー...暮らしを支える大きな存在だった、往時の小さな鉄道に迫る。

読売新聞 2021/01/31

2020.11./ 282p

978-4-909544-11-7

本体 ¥2,970〔税込〕



* 9 7 8 4 9 0 9 5 4 4 1 1 7 *



王のしるし<上>(岩波少年文庫 595)

ローズマリ・サトクリフ 著

岩波書店

約 2000 年前のスコットランド。奴隷の剣闘士フィドルスは、王位を追われ盲目にされたダルリアッド族の王マイダーの替え玉として雇われる。氏族の運命をかけた戦いのなかで、フィドルスはしだいに「王」になってゆく...

日本経済新聞 2021/01/09

2010.1./ 254p

978-4-00-114595-3

本体 ¥748〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 1 1 4 5 9 5 3 *



王のしるし<下>(岩波少年文庫 596)

ローズマリ・サトクリフ 著

岩波書店

マイダーから不当に王位を奪ったカレドニア族の女王リアサンを、ローマ軍の砦に追い詰めたフィドルスとマイダー。復讐はなし得るのか。氏族を守るために、フィドルスが下した決断とは...

日本経済新聞 2021/01/09

2010.1./ 222p

978-4-00-114596-0

本体 ¥704〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 1 1 4 5 9 6 0 *



藤原定家『明月記』の世界(岩波新書 新赤版 1851)

村井 康彦 著

岩波書店

稀代の歌人・藤原定家は、どんな日常を送っていたのか。生涯にわたって綴られた日記「明月記」を縦横に読み解き、等身大の定家を浮かびあがらせるとともに「武士の時代」の到来によって変貌をとげる宮廷社会を活写する。

日本経済新聞 2021/01/09

2020.10./ 5p,259p,6p

978-4-00-431851-4

本体 ¥968〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 8 5 1 4 *



F1地上の夢(朝日文庫)

海老沢 泰久 著

朝日新聞社

ホンダにはレースの夢に憑かれた男たちが集まっていた。モータースポーツの頂点、F1グランプリ。日本のホンダがF1に参戦して二十余年、遂にワールド・チャンピオンとなって世界を極めた。A・セナやA・プロスト、ウィリアムズやマクラーレン・チームと共に闘ってきた男達の光芒の軌跡。

日本経済新聞 2021/01/09

1993.7./ 528p

978-4-02-264009-3

本体 ¥822〔税込〕



* 9 7 8 4 0 2 2 6 4 0 0 9 3 *



死の淵を見た男～吉田昌郎と福島第一原発～(角川文庫 か 63-7)

門田 隆将 著

KADOKAWA

福島第一原発事故の、考えられうる最悪の事態の中で、現場はどう動き、どう闘ったのか。福島第一原発所長として最前線で指揮を執った吉田昌郎のもと、使命感と郷土愛に貫かれて壮絶に闘った人々の物語。

日本経済新聞 2021/01/09

2016.10./ 496p

978-4-04-103621-1

本体 ¥924〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 1 0 3 6 2 1 1 *



生物と無生物のあいだ(講談社現代新書)

福岡 伸一 著

講談社

「生きている」とはどういうことか？ 分子生物学がたどりついた地平を、歴史の闇に沈んだ科学者たちに光を当てながら平易に明かす。ページをめくる手がとまらない極上の科学ミステリー。

日本経済新聞 2021/01/09

2007:5./ 285p

978-4-06-149891-4

本体 ¥968〔税込〕



アンダーグラウンド

村上 春樹 著

講談社

1995年3月20日、それは何の変哲もない朝だった。変装した5人の男が、傘の先を奇妙な液体の入ったビニールに突き立てるまでは…。村上春樹が追う、地下鉄サリン事件。

日本経済新聞 2021/01/09

1997:3./ 727p

978-4-06-208575-5

本体 ¥2,750〔税込〕



古代哲学史(講談社学術文庫 2640)

田中 美知太郎 著

講談社

日本を代表する古代ギリシアの専門家の最後の著作。他の追隨を許さない驚異的な凝縮度と明晰さをもつ哲学史の叙述、哲学を修めるための道案内、そしてヘラクレイトスの翻訳からなる最高の概説書。

日本経済新聞 2021/01/09

2020:12./ 315p

978-4-06-521910-2

本体 ¥1,298〔税込〕



深夜特急<6> 新版 南ヨーロッパ・ロンドン(新潮文庫 さ-7-56)

沢木 耕太郎 著

新潮社

インドのデリーからイギリスのロンドンまで、乗合いバスで行ってみたい。26歳の<私>は、仕事を投げ出して旅に出た。6は、南ヨーロッパ・ロンドン、井上陽水との対談、「あの旅をめぐるエッセイ6」を収録。

日本経済新聞 2021/01/09

2020:9./ 276p

978-4-10-123533-2

本体 ¥649〔税込〕



だまされ屋さん

星野 智幸 著

中央公論新社

秋代の家に、ある日謎の男が現れる。娘と家族になろうとしているという。これは新手の詐欺なのか、それとも歪んだ一家に福音をもたらす救世主か？ 家族のあり方や人々のつながり方を問う長編。『読売新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2021/01/09

2020:10./ 397p

978-4-12-005348-1

本体 ¥1,980〔税込〕



スケール～生命、都市、経済をめぐる普遍的法則～<上>

ジョフリー・ウェスト 著

早川書房

世界を支配する隠された秩序とは？ 生命に関わる問題から都市という奇妙な有機体の謎、企業や経済活動まで、理論物理学者が、楽しいエピソードや小話とともに、様々な現象を貫く普遍的法則を解き明かす。

日本経済新聞 2021/01/09

2020:10./ 316p

978-4-15-209974-7

本体 ¥2,530〔税込〕





スケール～生命、都市、経済をめぐる普遍的法則～<下>

ジョフリー・ウェスト 著

早川書房

イノベーションはどこから生まれるのか？ 生命に関わる問題から都市という奇妙な有機体の謎、企業や経済活動まで、理論物理学者が、楽しいエピソードや小話とともに、様々な現象を貫く普遍的法則を解き明かす。

2020.10./ 290p

978-4-15-209975-4

本体 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



ルボ「命の選別」～誰が弱者を切り捨てるのか？～

千葉 紀和／上東 麻子 著

文藝春秋

妊婦の不安を煽る出生前診断ビジネス、障害児の治療拒否…。わが国の「優生社会」化が止まらないのはなぜか？『毎日新聞』のキャンペーン報道「旧優生保護法を問う」の取材班だった2人の著者が、命とは何かを問う。

2020.11./ 325p

978-4-16-391304-9

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



夜明けのすべて

瀬尾 まいこ 著

文藝春秋

PMS(月経前症候群)でイライラが抑えられない美紗は、パニック障害で生きがいも気力も失っている山添に当たってしまう。だが、おせっかい者同士のふたりは…。暗闇に光が差し込む、心に優しい物語。

2020.10./ 266p

978-4-16-401001-3

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



臨死体験<上>(文春文庫)

立花 隆 著

文芸春秋

まばゆい光、暗いトンネル、亡き人々との再会―死の床から奇跡的に蘇った人々が、異口同音に語る不思議なイメージ体験。その光景は、本当に「死後の世界」の一端なのだろうか。人に超能力さえもたらすという臨死体験の真実を追い、著者は、科学、宗教、オカルトの垣根を超えた、圧倒的な思考のドラマを展開する。

2000.3./ 490p

978-4-16-733009-5

本体 ¥781〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



臨死体験<下>(文春文庫)

立花 隆 著

文芸春秋

科学はどこまで臨死体験の核心に迫りうるのか。生物学者や神経学者は、様々な実験や仮説によってそのメカニズムの解明に挑み、成果をあげてきた。しかし、なお謎は残る。蘇生した人々はなぜ、本来、知るはずのない事実を知ってしまうのだろうか…。構想、取材、執筆に五年。発表と同時に大反響を呼んだ著者渾身の大作。

2000.3./ 526p

978-4-16-733010-1

本体 ¥781〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



東大落城〜安田講堂攻防七十二時間〜(文春文庫)

佐々 淳行 著

文芸春秋

放水に煙る時計台、炸裂するガス弾……。昭和四十四年一月十八日、学園紛争の天王山といわれた東大安田講堂の攻防を自ら投石を受けながら指揮した著者が再現したドキュメント！（早坂茂三）

1996.1./ 332p

978-4-16-756002-7

本体 ¥597〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



対立軸の昭和史〜社会党はなぜ消滅したのか〜(河出新書)

保阪 正康 著

河出書房新社

戦後、野党第一党の位置を不動のものにしながら、激しい党内闘争と保守からの切り崩しによって消滅した社会党。昭和とともに忘れかけられた戦後左派の栄光と悲慘を現代のために見直す。『サンデー毎日』連載を基に新書化。

2020.10./ 272p

978-4-309-63122-6

本体 ¥968〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



白い土地〜ルポ福島「帰還困難区域」とその周辺〜

三浦 英之 著

集英社クリエイティブ

遺言を託した福島県浪江町の町長、娘を探す父親……。原発被災地の最前線で生きる福島の人々と、住民が帰れない“白い土地”に通ったルポライターの物語。集英社ウェブ『イミダス』、『朝日新聞』連載を加筆修正して単行本化。

2020.10./ 256p

978-4-420-31090-1

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



イノベーションと企業家精神 エssenシャル版

P.F.ドラッカー、上田 惇生 著

ダイヤモンド社

イノベーションに天才はいらない。才能やひらめきに頼らず、誰もが学び、実行できるように体系化した、世界最初の方法論。世界的名著をさらに読みやすくしたエッセンシャル版。

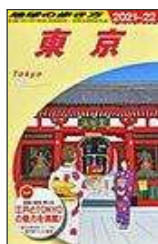
2015.12./ 5p,253p

978-4-478-06650-8

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



地球の歩き方<J01> 2021〜22 東京

地球の歩き方編集室 編

ダイヤモンド・ビッグ社

日帰り旅行から滞在型の旅まで、東京をじっくり楽しみたい人のためのガイドブック。エリアガイドをはじめ、歴史と文化、グルメ、ショップなどを掲載。取り外せる MAP 付き。データ:2019 年 10〜11 月現在。

2020.9./ 464p

978-4-478-82491-7

本体 ¥2,019〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



中国デジタル・イノベーション〜ネット飽和時代の競争地図〜

岡野 寿彦 著

日本経済新聞出版社

「ネット+リアル」に戦略転換した中国プラットフォーマー。日本企業にとって好機が到来する！第二幕に入った中国デジタル革命の実態を、「コロナ後」の展望も含め、中国 IT ビジネス・経営に精通する専門家が詳説する。

2020.9./ 425p

978-4-532-32358-5

本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/09



懐古する想像力〜イングランドの批評と歴史〜

ステファン・コリーニ 著

みすず書房

T・S・エリオットからレイモンド・ウィリアムズまで。同時代社会を彩る歴史認識、自己了解への視座をもたらしてきた 20 世紀イングランド文芸批評の展開を辿る。2017 年度オックスフォード大学フォード講演を基に書籍化。

日本経済新聞 2021/01/09

2020.11./ 391p

978-4-622-08942-1

本体 ¥5,720〔税込〕



ホンモノの偽物〜模造と真作をめぐる 8 つの奇妙な物語〜(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-15)

リディア・パイン 著

亜紀書房

ウォーホルなしでつくられたウォーホル作品は本物か。バナナ味とバナナの違いが明らかにする味覚の真実とは。真贋のグレーゾーンを行き来する事物を通して浮かび上がる、歴史と文化の実相に迫るノンフィクション。

日本経済新聞 2021/01/09

2020.10./ 333p

978-4-7505-1671-4

本体 ¥2,420〔税込〕



イノベーションのジレンマ〜技術革新が巨大企業を滅ぼすとき〜 増補改訂版 (Harvard business school press)

クレイトン・クリステンセン、玉田 俊平太、伊豆原 弓 著

翔泳社

業界を支配する巨大企業が、その優れた企業戦略ゆえに滅んでいくジレンマの図式を分析し、既存事業を衰退させる可能性を持つ破壊的イノベーションに対して、経営者はどう対処すべきかを解説する。2000 年刊の増補改訂版。

日本経済新聞 2021/01/09

2001.7./ 327p

978-4-7981-0023-4

本体 ¥2,200〔税込〕



HANDS〜手の精神史〜

ダリアン・リーダー、松本 卓也、牧瀬 英幹 著

左右社

人間の歴史は「手を使って行うことの変化」。文化や歴史、心理学や精神分析の理論を横断しながら、自分自身や他者との関係、現代に潜む病理を、ユーモアを交えつつ鋭く描き出す。

日本経済新聞 2021/01/09

2020.11./ 220p,16p

978-4-86528-295-5

本体 ¥2,420〔税込〕



三位一体の経営〜経営者・従業員・株主がみなで豊かになる〜

中神康議 著

ダイヤモンド社

「投資家の思考と技術」で経営の次元を引き上げる! 経営者だけでなく、従業員と株主も金銭的に報われ、アクティビストから身を守る「みなで豊かになる」経営理論を紹介する。

日本経済新聞 2021/01/09、朝日新聞 2021/01/23

2020.11./ 376p

978-4-478-11225-0

本体 ¥2,420〔税込〕



ロッキード疑獄〜角栄ヲ葬リ巨悪ヲ逃ス〜

春名 幹男 著

KADOKAWA

「自主外交」で角栄はアメリカに潰された。戦後最悪の国際的疑獄となったロッキード事件。米国立公文書館などの資料や日米関係者らの取材・調査をもとに、「陰謀説」の真偽を徹底検証。「巨悪」の正体と秘密に迫る。

日本経済新聞 2021/01/09、読売新聞 2021/01/31

2020.10./ 596p

978-4-04-105473-4

本体 ¥2,640〔税込〕





岩波国語辞典 第8版

西尾 実／岩淵 悦太郎／水谷 静夫／柏野 和佳子／星野 和子／丸山 直子
編

岩波書店

現代語を中心に、日常生活の上で必要な外来語・文語・雅語・成句など、約 67000 語を見出し語として収録し、わかりやすく解説。実例に基づいた用例・表示なども掲載する。全項目を見直した第 8 版。

2019.11./

21p,1726p,53p

978-4-00-080048-8

本体 ¥3,520〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/16



歴史<上>(岩波文庫 青 405-1)

ヘロドトス 著

岩波書店

「歴史の父」の名を冠されるギリシアの史家が述べる、前五世紀のペルシア戦争を頂点とする東西抗争、東方諸国の歴史。著者は、ギリシア人と異邦人とが果した偉大な事跡、両者が争うに至った原因を後世に伝えるべくこれを書いた。何よりもまず正確さが重視され、豊富に織りこまれた説話は長巻を飽かず読ませる魅力をもつ。

1971.12./ 536p

978-4-00-334051-6

本体 ¥1,518〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/16



歴史<中>(岩波文庫 青 405-2)

ヘロドトス、松平千秋 著

岩波書店

「歴史の父」の名を冠されるギリシアの史家が述べる、前五世紀のペルシア戦争を頂点とする東西抗争、東方諸国の歴史。著者は、ギリシア人と異邦人とが果した偉大な事跡、両者が争うに至った原因を後世に伝えるべくこれを書いた。何よりもまず正確さが重視され、豊富に織りこまれた説話は長巻を飽かず読ませる魅力をもつ。

1972.1./ 385p

978-4-00-334052-3

本体 ¥1,111〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/16



歴史<下>(岩波文庫 青 405-3)

ヘロドトス、松平千秋 著

岩波書店

「歴史の父」の名を冠されるギリシアの史家が述べる、前五世紀のペルシア戦争を頂点とする東西抗争、東方諸国の歴史。著者は、ギリシア人と異邦人とが果した偉大な事跡、両者が争うに至った原因を後世に伝えるべくこれを書いた。何よりもまず正確さが重視され、豊富に織りこまれた説話は長巻を飽かず読ませる魅力をもつ。

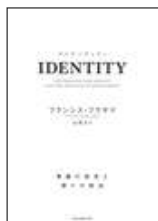
1972.2./ 447p

978-4-00-334053-0

本体 ¥1,386〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/16



IDENTITY～尊厳の欲求と憤りの政治～

フランシス・フクヤマ 著

朝日新聞出版

1992 年のベストセラー「歴史の終わり」以後、投げかけられてきた批判に、フクヤマ自らが答える。そして闘争の歴史と政治の刷新を“アイデンティティ”から考察し、民主主義再生への提言を行う。

2019.12./ 243p,18p

978-4-02-251606-0

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/16



砂戦争～知られざる資源争奪戦～(角川新書 K-338)

石 弘之 著

KADOKAWA

文明社会を支えるビルや道路、パソコンの半導体などの原料は「砂」。地球規模で都市化が進む現在、すでに砂の争奪戦が始まっている。違法採掘、マフィアの暗躍…。人間の欲望と砂資源の今を、環境問題の第一人者がレポート。

日本経済新聞 2021/01/16

2020:11./ 250p

978-4-04-082363-8

本体 ¥990〔税込〕



読み替えられた日本書紀(角川選書 642)

斎藤 英喜 著

KADOKAWA

中世において、アマテラスは、蛇体の神になり仏教を広める役割を担った。スサノヲが地獄の閻魔大王とされたこともある。時代的な背景や為政者の思惑で大きく変化し続けてきた「日本書紀」の、壮大な受容史をたどる。

日本経済新聞 2021/01/16

2020:10./ 302p

978-4-04-703701-4

本体 ¥1,870〔税込〕



地球のはしからはしまで走って考えたこと

北田 雄夫 著

集英社

砂漠、荒野、山岳、氷雪、ジャングル…。地球のすべてが「アドベンチャーマラソン」の舞台だ！日本唯一のプロアドベンチャーランナーが、“前人未走”の挑戦の軌跡を、笑える失敗やエピソードも含めて綴る。

日本経済新聞 2021/01/16

2020:10./ 284p

978-4-08-788046-5

本体 ¥1,760〔税込〕



「ルンバ」を作った男コリン・アングル「共創力」

大谷 和利 著

小学館

起業後 6 年半もの間、売上ほぼゼロの会社がどうやって存続し、ロボット掃除機「ルンバ」を開発できたのか？大企業との協業交渉も次々成功、社員のやる気を保ち続けたコリン流「共創メソッド」を公開。

日本経済新聞 2021/01/16

2020:11./ 222p

978-4-09-388790-8

本体 ¥1,760〔税込〕



魂の邂逅～石牟礼道子と渡辺京二～

米本 浩二 著

新潮社

作家・石牟礼道子と、その全活動を支えた編集者・渡辺京二。ふたりの半世紀にわたる共闘と愛を、秘められた日記や書簡、発言から跡づける。『新潮』連載を改稿し、書下ろしを加え単行本化。

日本経済新聞 2021/01/16

2020:10./ 250p

978-4-10-350822-9

本体 ¥1,980〔税込〕



和辻哲郎座談(中公文庫 わ 11-4)

和辻 哲郎 著

中央公論新社

旧友・谷崎潤一郎とその作品を、高坂正顕と世界史的な視座から日本を、漱石門人たちと師を語る。柳田國男、幸田露伴、内田百閒ら多彩な顔ぶれとの話題は広汎に自在に展開する。和辻哲郎の対談・座談全 10 篇を収録。

日本経済新聞 2021/01/16

2020:12./ 411p

978-4-12-207010-3

本体 ¥1,320〔税込〕





2020-2030 アメリカ大分断～危機の地政学～

ジョージ・フリードマン 著

早川書房

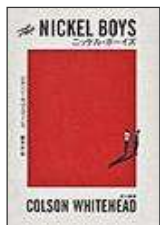
80 年周期の「制度的サイクル」と、50 年周期の「社会経済的サイクル」が衝突する 2020 年代、未曾有の危機がアメリカを襲う。差し迫る真の危機について予測し、その痛みと混乱を解決する方法を考える。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.10./ 327p

978-4-15-209971-6

本体 ¥2,200〔税込〕



ニッケル・ボーイズ

コルソン・ホワイトヘッド 著

早川書房

1960 年代アメリカ。アフリカ系アメリカ人の真面目な少年エルウッドは、無実の罪により少年院ニッケル校に送られる。しかし校内には信じがたい暴力や虐待が蔓延する地獄で…。実在した少年院をモデルに描かれた長篇小説。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.11./ 269p

978-4-15-209978-5

本体 ¥2,200〔税込〕



江戸染まぬ

青山 文平 著

文藝春秋

旗本の次男坊の俺は、兄が好意を寄せている下女にちょっかいを出そうとするが、その前に彼女は身籠る。父親は隠居の祖父だという。69 歳の老人に女で負けた俺は…。「台」はじめ全 7 編を収録。『オール讀物』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.11./ 222p

978-4-16-391287-5

本体 ¥1,540〔税込〕



新明解国語辞典 第 8 版

山田 忠雄、倉持 保男、上野 善道、山田 明雄、井島 正博、笹原 宏之 編

山田 忠雄／倉持 保男／上野 善道 著

三省堂

ことばの本質をとらえる国語辞典の決定版。7 万 9 千項目を収録。緻密な語の分析と、適切で文章作成に役立つ用例による詳しい語義解説を掲載。「数字の読み方」を新設した第 8 版。小型版(赤箱)、白版、青版も同時刊行。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.11./ 48p,1741p

978-4-385-13078-1

本体 ¥3,410〔税込〕



明鏡国語辞典 第 3 版

北原保雄 編

大修館書店

日本語運用の“達人”への指標となるべく、表記・意味・用法の的確な情報を盛り込んだ国語辞典。現代日本の言語生活に必要な約 7 万 3000 項目を収録。特徴的な語法や類義語との違い、注意すべき誤用などを詳しく解説する。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.12./

12p,1839p,71p

978-4-469-02122-6

本体 ¥3,300〔税込〕



アメリカ黒人史～奴隷制から BLM まで～(ちくま新書 1539)

ジェームス・M・バーダマン 著

筑摩書房

400 年にわたり黒人の生活と命を脅かしつづけてきた差別と、地下鉄道、公民権運動、そしてブラック・ライブズ・マターに至る「たたかい」の歴史を、アメリカ南部出身の著者が解説する。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.12./ 302p,15p

978-4-480-07358-7

本体 ¥1,034〔税込〕





歴史<上>(ちくま学芸文庫 ト15-1)

トゥキュディデス 著
筑摩書房

紀元前 5 世紀の古代地中海世界。スパルタ陣営との大激戦、ペロポネソス戦争で疲弊したアテナイでは屍が累々とし、人びとは疫病と困窮の中、運命の手に弄ばれるままになっていた…。トゥキュディデスが綴った大戦の長大な記録。

日本経済新聞 2021/01/16

2013.10./ 503p
978-4-480-09563-3
本体 ¥1,760〔税込〕



歴史<下>(ちくま学芸文庫 ト15-2)

トゥキュディデス 著
筑摩書房

古代地中海の国々が 2 つにわかれ、激闘を繰り広げたペロポネソス戦争。野望や恐怖が人びとの運命を翻弄し、諸国の力がせめぎあう中で、様々な政治戦略が生まれ模索されていった…。トゥキュディデスが綴った大戦の長大な記録。

日本経済新聞 2021/01/16

2013.10./ 414p
978-4-480-09564-0
本体 ¥1,650〔税込〕



格差と分断のアメリカ

西山 隆行 著
東京堂出版

アメリカで何が起きているのか? どこへ向かおうとしているのか? 選挙管理やソーシャル・メディア、移民や格差など、時事的な問題を通してアメリカを読み解く。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.2./ 291p
978-4-490-21026-2
本体 ¥2,640〔税込〕



自動車新常態(ニューノーマル)～CASE/MaaS の新たな覇者～

中西 孝樹 著
日本経済新聞出版社

コロナショックで大きな傷を負った自動車産業の短期的な動きを見定めるだけでなく、中長期的な産業としての対応を検討。アナリスト的なフォーキャスト目線のアプローチで、ポストコロナの産業構造変化をあぶり出す。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.10./ 12p,218p
978-4-532-32362-2
本体 ¥1,870〔税込〕



教養の近代測地学～メフィストのマントをひろげて～

石原 あえか 著
法政大学出版局

宇宙の謎を数学的に解き明かし、地理学や地質学を総動員して地球の姿を把握してきた測地学。技術者、探索者、詩人や科学者など、近代測地学に貢献した人々のドラマを図版とともに物語る。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.11./ 358p,13p,6p
978-4-588-35234-8
本体 ¥3,850〔税込〕



なぜ中間層は没落したのか～アメリカ二重経済のジレンマ～

栗林 寛幸 編
ピーター・テミン 著
慶應義塾大学出版会

所得格差が拡大し、中間層が消えつつあるアメリカ。二極化した階層を固定化する政策、低賃金、大量投獄、人種差別…。世界でもっとも裕福な国であるアメリカの現状を、「二重経済モデル」によって描き出す。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.5./ 23p,325p
978-4-7664-2674-8
本体 ¥2,970〔税込〕





詩人の恋～アラブの歌姫ウム・クルスーム物語～

セリム・ナスィーブ 著

スタイルノート

エジプトで絶大な人気を誇る歌手ウム・クルスームの物語。彼女と同時代を生きた詩人で歌詞作者のアフマド・ラーミーの口を借りて、ウム・クルスームの一生を、一人称で縦横に克明に語りつくした小説。

日本経済新聞 2021/01/16

2020.12./ 317p

978-4-7998-0189-5

本体 ¥2,200〔税込〕



グローバル・タックス～国境を超える課税権力～(岩波新書 新赤版 1858)

諸富 徹 著

岩波書店

巨大多国籍企業が台頭する中、複雑化し、苛烈を極める「租税競争」。その巧妙な仕組みを解き明かし、対抗手段として EU などの国際社会で模索が進む、旧来の国民国家税制と異なる新しい「課税主権」の在り方を展望する。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.11./ 4p,204p,4p

978-4-00-431858-3

本体 ¥902〔税込〕



コトラーのマーケティング 4.0～スマートフォン時代の究極法則～

フィリップ・コトラー、ヘルマワ・カルタジャヤ、イワン・セティアワン、恩蔵 直人、藤井 清美 著

朝日新聞出版

「コトラーのマーケティング 3.0」で示した人間中心のマーケティングを進化させ、ビジネスに取り入れるための戦術を徹底解説する。「ナウ」エコノミー、ソーシャル CRM といったトレンドに対応した神様コトラーの最終講義。

日本経済新聞 2021/01/23

2017.8./ 269p

978-4-02-331615-7

本体 ¥2,640〔税込〕



フラッシュ・クラッシュ～たった一人で世界株式市場を暴落させた男～

リアム・ヴォーン 著

KADOKAWA

2010年5月6日、世界の金融市場は奈落の底を見た。「フラッシュ・クラッシュ・トレーダー」の正体は「悪意ある犯罪者」か、「トレーディングのヒーロー」か? 5年の綿密な取材と調査により、事件の真相を明かす。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.11./ 319p

978-4-04-106212-8

本体 ¥2,200〔税込〕



都市計画の世界史(講談社現代新書)

日端 康雄 著

講談社

「自然は神が創り、都市は人間が造った」古代エジプト・メソポタミアから21世紀の巨大都市まで、人類が都市に注ぎ込んできた思想と技術の軌跡を見直し、現代に生かせる知恵を探る。

日本経済新聞 2021/01/23

2008.3./ 358p

978-4-06-287932-3

本体 ¥1,100〔税込〕



ビジネスマンの父より息子への30通の手紙(新潮文庫)

キングスレイ・ウード 著

新潮社

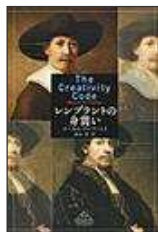
日本経済新聞 2021/01/23

1994.4./ 292p

978-4-10-242801-6

本体 ¥693〔税込〕





レンブラントの身震い(CREST BOOKS)

マーカス・デュ・ソートイ 著

新潮社

レンブラントやバッハなどの作品を学習した AI が「新作」をつくり、数学の証明を代行するようになったいま、コンピュータは真の創造性を獲得し、人の心を揺さぶれるのか。人工知能の最前線を探求する、サイエンス・エッセイ。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.11./ 397p

978-4-10-590169-1

本体 ¥2,750〔税込〕



ヒューマン・ネットワーク～人づきあいの経済学～

マシュー・O・ジャクソン 著

早川書房

まわりの人々が作り出すネットワークが、あなたの収入、健康、幸福度を決定している！学校の友達や同僚から、中世社会の構造や伝染病まで、スタンフォード大学の教授があらゆる事象を支配する「つながり」の法則を伝授する。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.11./ 343p

978-4-15-209980-8

本体 ¥2,200〔税込〕



フリーフォール～グローバル経済はどこまで落ちるのか～

ジョセフ・E. スティグリッツ、楡井 浩一、峯村 利哉 著

徳間書店

2008年アメリカの金融資本主義は破綻し、グローバル経済は急降下した。なぜ、この危機を予測できず、その悪化も防げなかったのか。いかなる方策によって回復するのか。経済再生の処方箋と、新しい資本主義秩序を提示する。

日本経済新聞 2021/01/23

2010.2./ 415p

978-4-19-862913-7

本体 ¥1,980〔税込〕



ツイッター哲学～別のしかたで～(河出文庫 ち 6-2)

千葉 雅也 著

河出書房新社

ニーチェの言葉か、漫画のコマか？ たった 140 字の「有限性の哲学」。動きすぎ、つながりすぎの世界で、孤独と共同性についてツイッターを通して実践的に考える。新たなツイートを加え、著者みずから再編集して文庫化。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.11./ 206p

978-4-309-41778-3

本体 ¥858〔税込〕



野の古典

安田 登 著

紀伊國屋書店出版部

煩悩、邪心、愛欲…。古典は人間の真の姿を映し出す。「古事記」「万葉集」から「南総里見八犬伝」「武士道」まで。能楽界の鬼才が、古典の使いかた、楽しみかた、味わいかたを語る。『scripta』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.12./ 397p

978-4-314-01180-8

本体 ¥1,980〔税込〕



見るレッスン～映画史特別講義～(光文社新書 1107)

蓮實 重彦 著

光文社

映画を見る際に重要なのは、異質なものに晒され、葛藤すること。シネマの生き字引がサイレント、ドキュメンタリー、ヌーベル・バーグから現代まで 120 年を超える歴史を案内。作品の最も優れた瞬間で刮目する方法を指南する。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.12./ 203p

978-4-334-04515-9

本体 ¥902〔税込〕





酒と酒場の博物誌

南條竹則 著

春陽堂書店

二十歳くらいの可愛いお嬢さんが、自分が受けたのでもない注文を、爛の加減まで覚えてくれていて…。古今東西ありとあらゆる酒を真剣に飲みつくす作家による、文芸の酒録。『銀座百点』『集英社新書プラス』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.12./ 239p

978-4-394-77001-5

本体 ¥1,870〔税込〕



人を動かす

D.カーネギー、山口 博 著

創元社

「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」「人を説得する十二原則」など、社会人として身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。多くの人々を励ましつづけてきた名著の文庫版。

日本経済新聞 2021/01/23

2016.2./ 318p

978-4-422-10098-2

本体 ¥715〔税込〕



マネジメント～基本と原則～ エッセンシャル版

P.F.ドラッカー 著

ダイヤモンド社

ドラッカー経営学の集大成を凝縮。指針とすべき役割・責任・行動を示し、新しい目的意識と使命感を与える書。1975 年刊「抄訳マネジメント」を改訂改題して新たに論文を加えたエッセンシャル版。

日本経済新聞 2021/01/23

2001.12./ 302p

978-4-478-41023-3

本体 ¥2,200〔税込〕



経済学の宇宙

岩井 克人 著

日本経済新聞出版社

次々と斬新な経済理論を生み出してきた学者・岩井克人。その研究対象や思想の変遷を、岩井理論をはじめ、様々な経済学説のエッセンスとともに語る。『日本経済新聞』連載インタビューをもとに再構成。

日本経済新聞 2021/01/23

2015.4./ 4p,490p

978-4-532-35642-2

本体 ¥3,080〔税込〕



AとZ～アンリアルレイジのファッション～ (早稲田新書 002)

森永 邦彦 著

早稲田大学出版部

「服は言葉を発することができない」「ファッションデザイナーは服の代わりに、服のことを伝えようとする」「テーマとコンセプトが服づくりの根幹」。パリコレで活躍する日本人デザイナー・森永邦彦が発想の源泉を明かす。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.12./ 200p

978-4-657-20013-6

本体 ¥990〔税込〕



村上春樹の動物誌 (早稲田新書 003)

小山 鉄郎 著

早稲田大学出版部

村上春樹のデビュー作「風の歌を聴け」から「猫を棄てる」までを貫く核心のテーマとは。文芸記者の著者が、動物を手がかりに村上文学の森に分け入る。村上春樹のインタビューも収録。共同通信社配信の連載を大幅加筆し新書化。

日本経済新聞 2021/01/23

2020.12./ 269p

978-4-657-20014-3

本体 ¥990〔税込〕





デジタルエコノミーの罠～なぜ不平等が生まれ、メディアは衰亡するのか～

マシュー・ハインドマン 著

NTT出版

デジタルエコノミーの本質は、自由で平等な競争ではなく、運が大きく左右し、勝者総取りが起こる非対称な世界。理論モデルと実証データを使って、なぜ各種のインターネット平等化議論がすべて幻想にすぎないかを示す。

2020.11./ 348p

978-4-7571-2377-9

本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/23



ワクチン・レース～ウイルス感染症と戦った、科学者、政治家、そして犠牲者たち～(PEAK books PB04)

メレディス・ウッドマン 著

羊土社

20 世紀の金字塔、風疹ワクチン開発。ブレイクスルーとなった発見、データ蓄積に貢献した名もなき人々、エビデンスだけでは動かない社会実装…。1960 年代の風疹対策を巡る真実を、当事者たちの証言をもとに描く。

2020.10./ 539p,90p

978-4-7581-1213-0

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/23



河田嗣郎の男女平等思想～近代日本の婦人問題論とジェンダー～

亀口まか 著

現代書館

「良妻賢母主義」の女子教育や「母性主義」を批判し、性別の社会的構築性に着目した議論を展開した河田嗣郎。彼の著書・論文・記事を精査し、その思想が現代のジェンダー論につながる先駆性を持っていたことを明らかにする。

2020.11./ 269p

978-4-7684-7983-4

本体 ¥4,180〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/23



世界でいちばん大切にしたい会社～コンシャス・カンパニー～(Harvard Business School Press)

ジョン・マッキー、ラジェンドラ・シソーディア 著

翔泳社

すべてのステークホルダーに愛され、富と幸福を創り出して成功を収めたコンシャス・カンパニー(意識の高い会社)。イケア、スターバックスなど、多くの事例を取り上げ、企業のあるべき姿を提案する。

2014.4./ 14p,415p

978-4-7981-3454-3

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/23



ドーナツを穴だけ残して食べる方法～越境する学問ー穴からのぞく大学講義～

大阪大学ショセキプロジェクト 編

大阪大学出版会

「ドーナツの穴を残して食べる」という一見矛盾した命題に、大阪大学に所属する多様な研究者が、それぞれの専門領域からアプローチ。同時に、「ドーナツの穴」をめぐる格闘する姿を通して、学問とはどういうものかを伝える。

2014.2./ 8p,274p

978-4-87259-470-6

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/23



ねえねえはかせ、月のうさぎは何さいなの?～はかせのわくわく科学絵本～

寺田 健太郎、乾 摩耶子 著

大阪大学出版会

月のうさぎは、実は黒い石と白い石でできた模様!? 大学で月の研究をしているけんたろうはかせと、小学 4 年生のゆりちゃんの会話形式で、月のうさぎの年齢の調べ方などを写真やイラストとともに解説します。

2018.12./ 31p

978-4-87259-671-7

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/23



緒方洪庵の薬箱研究～マテリアルサイエンスで見る東西融合医療～

高橋 京子 著
大阪大学出版会

緒方洪庵が往診に使った 2 つの薬箱の内容物をカラー写真で紹介。さらに、蘭方と漢方を融合させ、実践した洪庵の臨床経験の知識を本草学の視座から検証し、「緒方洪庵の薬箱」という医療文化財がもつ学術的意義を示す。

2020:3./ 291p
978-4-87259-700-4
本体 ¥27,500〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/23



ねえねえはかせ、かぐや姫はどうやって月に帰ったの？～満月に吹く地球の風のおはなし～(はかせのわくわく科学絵本)

寺田 健太郎 著
大阪大学出版会

かぐや姫は、地球から月へ吹く風に乗って、帰っていった!? 大学で月の研究をしているけんたろうはかせと、小学 4 年生のゆりちゃんの会話形式で、満月に吹く地球の風について写真やイラストとともに解説します。

2020:10./ 31p
978-4-87259-721-9
本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/23



死者の書(角川ソフィア文庫 J119-8)

折口 信夫 著
KADOKAWA

水の音と共に闇の中で目覚めた死者・滋賀津彦(大津皇子)。その亡霊は、藤原南家豊成の娘・郎女の元を訪れ…。魂の神秘的な交感を描く折口信夫の代表的小説。池田弥三郎・関場武による詳細な補注、持田叙子による解説も掲載。

2017:7./ 378p
978-4-04-400204-6
本体 ¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



中国法～「依法治国」の公法と私法～(集英社新書 1043)

小口 彦太 著
集英社

対中ビジネスを行ううえで不可欠な中国法。先進的な民法、人権無視の憲法・刑事法…なぜ中国法は複雑な相貌を有するのか。具体的な裁判例に即して、その謎を解く。

2020:11./ 254p
978-4-08-721143-6
本体 ¥946〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



三十路女は分が悪い

壇蜜 著
中央公論新社

恋愛、仕事、結婚、セックス。30 代女性を取り巻く悩みに、壇蜜が答える。自身の暗黒時代から芸能生活 10 年までの半生を振り返った書き下ろしも収録。WEB サイト『OTEKOMACHI』連載を加筆し書籍化。

2020:12./ 172p
978-4-12-005357-3
本体 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



アンダーランド～記憶、隠喩、禁忌の地下空間～

ロバート・マクファーレン 著
早川書房

洞窟、ダークマター観測所、氷穴、核廃棄物の墓…。イギリスの優れたネイチャーライターが、神話、文学、記憶、そして土地そのものから、様々な地下空間と、そこに关わる人々の思いをたどる。

2020:11./ 542p
978-4-15-209979-2
本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



20 世紀ファッション～時代をつくった 10 人～(河出文庫 な 43-1)

成実 弘至 著
河出書房新社

20 世紀、ファッションは何を成し遂げたのか。ポワレ、シャネルからコム・デ・ギャルソン、マルジェラまで、10 人の代表的なデザイナーを取り上げ、ファッションを社会的なプロセスと捉えて考察する。

2021:1./ 315p
978-4-309-41791-2
本体 ¥1,078〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



ティムール以後～世界帝国の興亡 1400-2000 年～<上>

ジョン・ダーウィン 著
国書刊行会

ヨーロッパの膨張の歴史として理解されてきた世界史を、ヨーロッパがコントロールできなかった力学の産物として捉えなおす。グローバルヒストリー研究の第一人者が、従来とは異なる視座で世界史を叙述し、その行方を展望する。

2020:11./ 434p,31p
978-4-336-06574-2
本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



ティムール以後～世界帝国の興亡 1400-2000 年～<下>

ジョン・ダーウィン 著
国書刊行会

世界の歴史は、ユーラシア大陸における諸力の均衡が変動することによって決定的に形作られてきた。西洋中心主義とは異なる視座でグローバルヒストリーを叙述し、その行方を展望する。

2020:11./ 331p,43p
978-4-336-06575-9
本体 ¥3,740〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



源氏物語の楽しみかた(祥伝社新書 618)

林 望 著
祥伝社

「源氏物語」全五十四帖の現代語訳「謹訳源氏物語」(全十巻)の著者が、「源氏物語」の味わい方を徹底解説。現代語訳を進める際に残したメモをもとに、名文、名場面など、面白く読むためのヒントを 13 の視点でまとめる。

2020:12./ 359p
978-4-396-11618-7
本体 ¥1,100〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



働き方改革の世界史(ちくま新書 1517)

濱口 桂一郎、海老原 嗣生 著
筑摩書房

経営者と従業員の利害はどのように調整できるか。労働者の団結や労使協調、経営参加という現代の労使関係の理論はどのように生まれたか。英国、米国、日本などの労働思想の原典を読み解き、働くということを根本から考える。

2020:9./ 250p
978-4-480-07331-0
本体 ¥924〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



労働経済

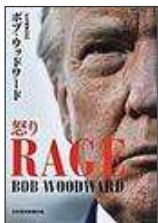
清家 篤／風神 佐知子 著
東洋経済新報社

労働経済学の基本的な考え方を解説するとともに、女性労働、高齢者雇用、第 4 次産業革命と労働といった現実の労働市場で起きているホットな問題を、労働経済学の観点から考察する。

2020:9./ 13p,333p
978-4-492-39654-4
本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/01/30



RAGE～怒り～

ボブ・ウッドワード 著
日本経済新聞出版社

コロナ禍、中国、北朝鮮、大統領選…。大統領執務室で何が起きていたのか。調査報道の名手がトランプを 17 回にわたりオンレコでインタビュー。「本能」で動いた異形の大統領トランプの 4 年間を総括する。

2020.12./ 547p 図版
16p
978-4-532-17694-5
本体 ¥2,750〔税込〕
* 9 7 8 4 5 3 2 1 7 6 9 4 5 *

日本経済新聞 2021/01/30



戦時リーダーシップ論～歴史をつくった九人の教訓～

アンドルー・ロバーツ 著
白水社

戦時リーダーの成功の秘訣、失敗の理由とは。ナポレオン、ネルソン、チャーチル、ヒトラーなど 9 人の人格の諸側面を比較考察し、「危機の時代」のリーダーのあり方を問う。

2020.10./ 238p,9p
978-4-560-09790-8
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 7 9 0 8 *

日本経済新聞 2021/01/30



オードリー・タン デジタルと AI の未来を語る

オードリー・タン 著
プレジデント社

2020 年に全世界を襲った新型コロナウイルスの封じ込めに成功した台湾。その中心的な役割を担った IT 業界の異才が、コロナ対策成功の秘密、デジタルと民主主義、AI と社会等について語る。日本へのメッセージも収録。

2020.12./ 252p
978-4-8334-2399-1
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 8 3 3 4 2 3 9 9 1 *

日本経済新聞 2021/01/30



活動写真弁史～映画に魂を吹き込む人びと～

片岡 一郎 著
共和国/editorial republica

国際的に活躍する現役の活動弁士が記す、初期の日本映画に不可欠な「活動写真弁士」の歴史。新発見の事実や資料を駆使して従来の映画史の欠落を埋め、時代に翻弄される群像を描く。詳細な弁士名鑑、人名索引も収録。

2020.10./ 573p
978-4-907986-64-3
本体 ¥7,260〔税込〕
* 9 7 8 4 9 0 7 9 8 6 6 4 3 *

日本経済新聞 2021/01/30



不寛容論～アメリカが生んだ「共存」の哲学～(新潮選書)

森本 あんり 著
新潮社

「不愉快な隣人」とどう付き合うか。不寛容だった植民地時代のアメリカで、異なる価値観を持つ人びとが暮らす多様性社会を築いた偏屈なピューリタンの苦闘から、そのしたたかな共存の哲学を読み解く。

2020.12./ 297p
978-4-10-603860-0
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 6 0 3 8 6 0 0 *

日本経済新聞 2021/01/30、産経新聞 2021/01/31



世界の共同主観的存在構造(岩波文庫 38-122-1)

廣松 渉 著
岩波書店

われわれはいかに一つの世界を共有し、その世界はどう構造化されているのか。人間を「共同主観的存在」と見る立場から、認識論の乗越えと再生を目指した廣松哲学の核心を示す主著。鼎談「サルトルの地平と共同主観性」を付載。

2017.11./ 552p,16p
978-4-00-381241-9
本体 ¥1,452〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 3 8 1 2 4 1 9 *

毎日新聞 2021/01/09



和歌史～なぜ千年を越えて続いたか～(角川選書 641)

渡部 泰明 著

KADOKAWA

千年を越える歴史をもつ和歌。なぜこれほど長く続いたのか? 額田王から香川景樹まで、連綿と続く「言葉の網」を通史的に読み解き、系譜化し、和歌史全体をとらえ直す。

2020.10./ 334p

978-4-04-703653-6

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



地上に星座をつくる

石川 直樹 著

新潮社

ヒマラヤ遠征を繰り返し、北極海でシロクマに出会い、沖縄で漂着クジラの亡骸に手を合わせ、ユーコン川をカヌーで下りアラスカへ。カメラを携え未知なる世界と出会い続ける7年間の身体と思考の軌跡。『新潮』掲載を書籍化。

2020.11./ 301p

978-4-10-353691-8

本体 ¥1,925〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



絶対に挫折しない日本史(新潮新書 876)

古市 憲寿 著

新潮社

思い切って固有名詞を減らしてしまい、流れを超俯瞰で捉えれば、日本史はここまでわかりやすくて面白くなる! 歴史学者ではない著者だからこそ書けた、全く新しい日本史入門。

2020.9./ 313p

978-4-10-610876-1

本体 ¥968〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



里山に暮らすアナグマたち～フィールドワーカーと野生動物～

金子 弥生 著

東京大学出版会

日本の固有種であるイタチ科動物のニホンアナグマの生態に焦点をあて、その生息地である日本と、近縁種についてイギリスや中国の里山でおこなってきた研究者修行と調査のエピソードを紹介。イギリスの最新の理論も掲載する。

2020.11./

9p,219p,13p

978-4-13-060241-9

本体 ¥4,180〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



チッソは私であつた～水俣病の思想～(河出文庫 お 40-1)

緒方 正人 著

河出書房新社

なぜ加害者を赦すのか? 水俣病を「文明の罪」として背負い直した先に浮上する真の救済を描いた伝説的名著に、石牟礼道子による著者評「常世の舟」を増補して文庫化。

2020.12./ 261p

978-4-309-41784-4

本体 ¥1,210〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



子どもを守る仕事(ちくまプリマー新書 361)

佐藤 優、遠藤 久江、池上 和子 著

筑摩書房

日本の戦後の復興期から今日まで、長年、福祉の道を歩んできた遠藤久江。佐藤優と池上和子の対話的聞き取りによる遠藤のオーラルヒストリーを基軸に、「子どもを守る」ということの現実と課題を3人が話し合う。

2020.10./ 248p

978-4-480-68388-5

本体 ¥968〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



「うたのこば」に耳をすます

久保田 淳 著

慶應義塾大学出版会

万葉から現代まで、歌に通底するものとはなにか。中世和歌研究の第一人者が、「和歌と短歌」「西行と定家」などをテーマに、歌の研究の具体的な事例をやさしく語るエッセイ集。『學士會会報』『礫』ほか掲載を書籍化。

2020/9./ 425p,15p

978-4-7664-2698-4

本体 ¥4,950〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



花咲く大和言葉の森へ～日本語の新起源論から新釈万葉集へ～

近藤 健二 著

松柏社

世界の言語はつながっている。起源が同じだとみなされる古代日本語と古代中国語を探究した「弥生言語革命」を基に、古代中国語の深奥に分け入り、日本語の源流を突き止め、不詳の枕詞の謎を解き、訓読困難な万葉仮名を訓む。

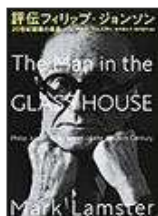
2020/10./ 5p,216p

978-4-7754-0266-5

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



評伝フィリップ・ジョンソン～20世紀建築の黒幕～

マーク・ラムスター、松井 健太、横手 義洋 著

左右社

<建築界のノーベル賞>プリツカー賞初代受賞者、キュレーター、パトロン…。常に新しさを追い求め、矛盾と挑発を恐れない人生を生き、称賛と批難、数多くの作品を遺した建築家、フィリップ・ジョンソンの評伝。

2020/10./ 566p,40p

978-4-86528-294-8

本体 ¥6,930〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



ブルデュー『ディスタンクシオン』講義

石井 洋二郎 著

藤原書店

文化資本、社会空間、慣習行動など、現代社会分析の上で必須の概念の数々を提起したブルデューの「ディスタンクシオン」。社会科学の名著を講義形式で明快に読み解き、そこから汲み取れることをあらためて整理する。

2020/11./ 298p

978-4-86578-290-5

本体 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09



メディア論の名著 30(ちくま新書 1530)

佐藤 卓己 著

筑摩書房

「政治宣伝」「メディアの文明史」「流言蜚語」…。メディア史研究の第一人者・佐藤卓己が、自らの研究で真に役立った書物を精選・解説。社会心理から政治学まで、文明論的な視座をもつメディア論の名著 30 冊を取り上げる。

2020/11./ 343p

978-4-480-07352-5

本体 ¥1,100〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09、読売新聞 2021/01/10



日本印刷文化史

印刷博物館 編

講談社

1200 年以上におよぶ世界に類がない日本の印刷文化を、歴史の筋道から展望する試み。日本の印刷史を文化・社会や技術・産業の重要な一環とみなし、具体的な実例に即しながら、その歴史的展開の諸側面をあきらかにする。

2020/10./ 341p

978-4-06-520452-8

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/01/09、毎日新聞 2021/01/30



定本 見田宗介著作集<10> 晴風万里

見田 宗介 著

岩波書店

「見田社会学」と称される独自の世界を創造した著者が、自身の全仕事を振り返り、重要な作品だけを精選してその精髓を体系的に示す。10 は「晴風万里」「アートの間学」「人間は変わることができるか」ほか解題を収録。

2012:7./ 7p,236p

978-4-00-028490-5

本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



定本 真木悠介著作集<4> 南端まで

真木 悠介 著

岩波書店

見田宗介が「社会学者」としての役割から離れて全力を傾注した、真木悠介名のテキストを集成。4 は、インドやラテン・アメリカ各地を歩いた著者によって彫琢された文章と光あふれる写真を収録。

2013:1./ 5p,229p

978-4-00-028494-3

本体 ¥3,080〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



自動車の社会的費用(岩波新書 青版 B-47)

宇沢 弘文 著

岩波書店

自動車は現代機械文明の輝ける象徴である。しかし、自動車による公害の発生から、また市民の安全な歩行を守るシビル・ミニマムの立場から、その無制限な増大に対する批判が生じてきた。市民の基本的権利獲得を目指す立場から、自動車の社会的費用を具体的に算出し、その内部化の方途をさぐり、あるべき都市交通の姿を示唆する。

1974:6./ 180p

978-4-00-411047-7

本体 ¥880〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



寂しき骨〜池田理代子第一歌集〜

池田 理代子 著

集英社

ただひとつ母の期待に背きたり自慢できない私の容姿 別解も二進法もステレオも君が教えた暗き音楽室 不朽の名作「ベルサイユのばら」の作者が、父、母、初恋、老いなど私的で普遍的な 11 のテーマを短歌とエッセイで綴る。

2020:11./ 149p

978-4-08-775451-3

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



象牛

石井 遊佳 著

新潮社

自分を弄んだ男性教師を追い、インドの聖地を訪れた女子大生。だが象にも牛にも似た奇怪な存在に翻弄され…。表題作のほか、淀川河岸を舞台に、恋に似た短く激しい熱情を描いた「星曝し」を収録。『新潮』掲載を書籍化。

2020:9./ 195p

978-4-10-351532-6

本体 ¥1,925〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



存在しない女たち～男性優位の世界にひそむ見せかけのファクトを暴く～

キャロライン・クリアド＝ペレス 著

河出書房新社

衝撃のデータが世界の見方を変える! トイレ、オフィス、交通機関、税金、医療、災害現場…。一見「公平」に見える場所に隠された、思いもよらない男女格差のファクトに迫る。

2020.11./ 419p

978-4-309-24983-4

本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



宇宙に行くことは地球を知ること～「宇宙新時代」を生きる～(光文社新書 1090)

野口 聡一、矢野 顕子、林 公代 著

光文社

「誰もが宇宙に行ける日」が近づいている-。民間による宇宙旅行時代の幕開けという歴史的転換点を迎えた今、宇宙飛行士・野口聡一と、「宇宙好き」のミュージシャン・矢野顕子が、宇宙体験からスペース X までを語る。

2020.9./ 262p

978-4-334-04497-8

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



真木悠介の誕生～人間解放の比較=歴史社会学～

佐藤 健二 著

弘文堂

戦後日本を代表する社会学者、「真木悠介」はどのようにして生み出され、どういう意味をもったのか。思想家としても、社会に大きな影響を与え続けた「真木悠介」こと見田宗介の本質に迫る論考集。

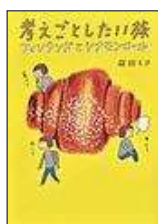
2020.11./ 342p

978-4-335-55202-1

本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



考えごとしたい旅フィンランドとシナモンロール

益田 ミリ 著

幻冬舎

温かいコーヒースナックとシナモンロールを頬張りながら、時間とか、人生とか、自分について考える…。イラストレーター・益田ミリによる、「食べて」「歩いて」「考える」フィンランドひとり旅。

2020.12./ 195p

978-4-344-03643-7

本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



満洲難民～北朝鮮・三八度線に阻まれた命～(幻冬舎文庫 い-65-1)

井上 卓弥 著

幻冬舎

ソ連軍の侵攻から逃れるため、満洲国首都・新京から朝鮮北部の郭山に疎開した1094名の日本人。地獄のような難民生活を送った彼らの存在は、なぜ黙殺されてきたのか? 「戦後史の闇」に光を当てた凄絶なノンフィクション。

2020.12./ 317p

978-4-344-43036-5

本体 ¥781〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



ヒトの足～この謎にみちたもの～(創元アーカイブス)

水野 祥太郎 著

創元社

恐竜や駝鳥の足の謎解きから、偏平足の問題、足アーチの研究、足の痛み、履物まで。半世紀にわたる足の研究により、ヒトの二足直立歩行の起源に新説を提唱した著者が、足の謎について考察する。

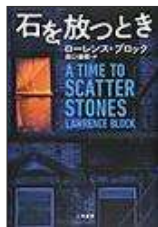
2020.10./ 268p

978-4-422-43032-4

本体 ¥4,400〔税込〕



毎日新聞 2021/01/16



石を放つとき

ローレンス・ブロック 著

二見書房

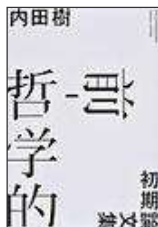
エレインの旧知の女性が名前も知らぬ男から脅迫を受けていた。老スカダーは単独で調査を始めるが…。探偵マット・スカダー・シリーズの最新作「石を放つとき」のほか、スカダーものの短篇集「夜と音楽と」を収録。

毎日新聞 2021/01/16

2020.12./ 500p

978-4-576-20187-0

本体 ¥2,750〔税込〕



前-哲学的～初期論文集～

内田 樹 著

草思社

思想家・内田樹が駆け出しのフランス文学者時代に執筆した、フランス文学・哲学関連の論文を集成。レヴィナス、カミュなどを題材に「なぜ人を殺してはいけないのか」「いかにして成熟するか」といった倫理的なテーマを論じる。

毎日新聞 2021/01/16

2020.12./ 303p

978-4-7942-2478-1

本体 ¥1,980〔税込〕



永遠の最強王者ジャンボ鶴田

小佐野 景宏 著

ワニブックス

プロレスラー・ジャンボ鶴田の強さはどこにあったのか？ 元『週刊ゴング』編集長が多くの新証言をもとに、いまでも根強い“日本人レスラー最強説”と権力に背を向けたその人間像に迫る。

毎日新聞 2021/01/16

2020.5./ 588p

978-4-8470-9919-9

本体 ¥1,980〔税込〕



少女マンガのブサイク女子考

トミヤマ ユキコ 著

左右社

ライター・少女マンガ研究者の著者が、少女マンガの「ブサイクヒロイン」を読み解く。萩尾望都などの大御所から若手、知る人ぞ知る伝説的作家まで、全 26 作品を収録。『マンバ通信』連載に加筆修正し書き下ろしと対談を追加。

毎日新聞 2021/01/16

2020.10./ 187p

978-4-86528-293-1

本体 ¥1,870〔税込〕



医師が死を語るとき～脳外科医マーシュの自省～

ヘンリー・マーシュ 著

みすず書房

「よき死」とは何か。社会はそれを可能にしてくれるのか。イギリスを代表する脳神経外科医が、該博な知識から生命と人生の意味を問い、患者たちの死、そしてやがてくる自らの死に想いをめぐらせる自伝的ノンフィクション。

毎日新聞 2021/01/16、日本経済新聞 2021/01/23

2020.12./ 4p.303p

978-4-622-08966-7

本体 ¥3,520〔税込〕



渋沢栄一伝(岩波文庫 31-012-18)

幸田 露伴 著

岩波書店

動乱の世、青年は如何に鍛錬され、時代の主導者となったか。「日本資本主義の父」とまで呼ばれる渋沢栄一の伝記を、文豪・幸田露伴が撰述。含蓄に富む解釈を織り込んで、人間・渋沢栄一の生涯を活写する。露伴史伝文学の名品。

毎日新聞 2021/01/23

2020.11./ 357p

978-4-00-360038-2

本体 ¥891〔税込〕





いのちの初夜 改版(角川文庫 ほ 2-1)

北條 民雄 著

KADOKAWA

若くしてハンセン病を患った青年は、半ば強制的に収容施設に入所させられる。自分の運命を呪い、一度は自殺すら考えた青年を絶望の淵から救い出したのは、文学に対する止めどない情熱だった…。珠玉の短編 8 編を収録。

2020.11./ 312p

978-4-04-110975-5

本体 ¥704〔税込〕



毎日新聞 2021/01/23



時をかける少女 新装版(角川文庫)

筒井 康隆／角川書店装丁室 著

角川書店

放課後の実験室、壊れた試験管の液体からただよう甘い香り。このにおいを、わたしは知っている——思春期の少女が体験した不思議な世界と、あまく切ない想いを描く。時をこえて愛され続ける、永遠の物語！

2006.5./ 238p

978-4-04-130521-8

本体 ¥484〔税込〕



毎日新聞 2021/01/23



日本を壊した霞が関の弱い人たち～新・官僚の責任～

古賀 茂明 著

集英社

民主党政権の「政治主導」の失敗から安倍内閣の「官邸主導」、そして菅内閣への移行という過程において、官僚と政治の関係はどう変化したのか。政権交代を経ても変わらない霞が関腐敗の本質を読み解く。

2020.10./ 319p

978-4-08-790020-0

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/01/23



ゲンロン戦記～「知の観客」をつくる～(中公新書ラクレ 709)

東 浩紀 著

中央公論新社

「数」の論理と資本主義が支配するこの残酷な世界で、人間が自由であることは可能なのか？ 仲間の離反、資金のショート、組織の腐敗…。「ゲンロン」を立ち上げた著者が、会社の華々しい戦績の裏にあった苦闘の 10 年を語る。

2020.12./ 277p

978-4-12-150709-9

本体 ¥946〔税込〕



毎日新聞 2021/01/23



仏像破壊の日本史～神仏分離と廃仏毀釈の間～(宝島社新書 589)

古川 順弘 著

宝島社

神社と寺院を分離する政策が、なぜ僧侶自らが率先して神職への転職を申し出て、本尊を斧で叩き割ったとされるほどの仏教攻撃、文化財破壊にエスカレートしたのか。ビジュアル資料とともに具体的事例で廃仏毀釈を読み解く。

2020.11./ 223p

978-4-299-01012-4

本体 ¥1,210〔税込〕



毎日新聞 2021/01/23



感情史の始まり

ヤン・プランパー 著

みすず書房

感情とは、感情史とは何か。感情をめぐる社会構築主義と普遍主義を架橋し、グランドセオリーを描く試論。歴史学における感情の扱い方の手法と重要性を説く。用語解説や主要文献目録も収録。

2020.11./

432p,144p,13p

978-4-622-08953-7

本体 ¥6,930〔税込〕



毎日新聞 2021/01/23



書く、読む、生きる～一行も書けなくなるような境地がある。そこにさらされたとき、その奥から何かが見えてくる。～

古井 由吉 著
草思社

作家稼業、書くことと読むこと、日本文学とドイツ文学、東京大空襲、東日本大震災...。深奥な認識を唯一無二の口調、文体で語り、綴る。日本文学の巨星・古井由吉が遺した講演録、単行本未収録エッセイ、芥川賞選評を集成。

2020.12./ 357p
978-4-7942-2479-8
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 7 9 4 2 2 4 7 9 8 *

毎日新聞 2021/01/23



縁食論～孤食と共食のあいだ～

藤原辰史 著
ミシマ社

世界人口の9人に1人が飢餓で苦しむ地球、義務教育なのに給食無料化が進まない島国。「あたらしい食のかたち」を、歴史学の立場から探り、描く。孤食でも共食でもない「縁食」をテーマにした文章をまとめる。

2020.11./ 189p
978-4-909394-43-9
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 9 0 9 3 9 4 4 3 9 *

毎日新聞 2021/01/23、東京・中日新聞 2021/01/24、読売新聞 2021/01/31



ぼくがアメリカ人をやめたワケ

ロジャー・パルバース／大沢 章子 著
集英社インターナショナル

「最高にして最強の国」アメリカを飛び出し、日本に辿りつき、ついには国籍を捨ててオーストラリア人になった作家の自伝。宮沢賢治、石川啄木への熱い想い、井上ひさし、大島渚たちとのエピソードを交えながら縦横無尽に綴る。

2020.11./ 317p
978-4-7976-7393-7
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 7 9 7 6 7 3 9 3 7 *

毎日新聞 2021/01/23、日本経済新聞 2021/01/30



哲学探究

ルートヴィッヒ・ウィトゲンシュタイン 著
講談社

ウィトゲンシュタインの後期の主著として、哲学史上に燦然と輝く名著。個々のテキストが全体とどのようにつながり、ウィトゲンシュタインの思想的宇宙のどこに位置しているのかを意識できるように翻訳する。

2020.11./ 539p
978-4-06-219944-5
本体 ¥3,080〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 2 1 9 9 4 4 5 *

毎日新聞 2021/01/30



ミラクル・クリーク(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1961)

アンジー・キム 著
早川書房

バージニア州郊外の町、ミラクル・クリーク。韓国人の移民一家が営む酸素治療施設で放火事件が発生。焼死した少年の母親が逮捕され、1年後、裁判が開かれる。心のうちに傷と秘密を抱えながら、関係者たちは法廷に臨む。

2020.11./ 499p
978-4-15-001961-7
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 1 5 0 0 1 9 6 1 7 *

毎日新聞 2021/01/30



子どもが作る弁当の日～「めんどくさい」は幸せへの近道～

城戸 久枝 著
文藝春秋

親の手を借りず、子どもが弁当を作り学校に持って行く「弁当の日」。家事料理苦手手の“だめだめ母ちゃん”の著者が、弁当の日とそれに関わる人たちの物語に触れ、体当たりで取材。弁当の日で変わる子どもと親の姿を記録する。

2020.11./ 220p
978-4-16-391265-3
本体 ¥1,320〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 2 6 5 3 *

毎日新聞 2021/01/30



<格差>と<階級>の戦後史(河出新書 016)

橋本 健二 著

河出書房新社

敗戦、ヤミ市、高度成長、一億総中流、日本経済の再編成、アンダークラスの出現…。この社会はいかにして、現在のようなかたちになったのか？ あざやかなデータ分析で描く、階級社会・日本の履歴書。

毎日新聞 2021/01/30

2020:1./ 404p

978-4-309-63117-2

本体 ¥1,210〔税込〕



現代秀句 新・増補版

正木 ゆう子 著

春秋社

17 音の世界の可能性を無限にひらく鑑賞への誘い。現代俳句の海から掬いあげた 18 句を新たに加えた、時代を超えて伝えたい 254 句の名句を縦横無尽に読み解く。「俳句の現在」の豊穡な世界へと誘う新・増補版。

毎日新聞 2021/01/30

2020:9./ 286p

978-4-393-43452-9

本体 ¥2,200〔税込〕



盆踊りの戦後史〜「ふるさと」の喪失と創造〜(筑摩選書 0202)

大石 始 著

筑摩書房

人が集まり、音頭にあわせて踊る「盆踊り」は、楽しいだけでなく人や地域にとって大切な役割を持ち、その役割も時とともに変化してきた。盆踊りを通して日本の地域コミュニティの変遷を見つめ、その未来を考える。

毎日新聞 2021/01/30

2020:12./ 254p

978-4-480-01719-2

本体 ¥1,760〔税込〕



AV 女優ちゃん<1>

峰なゆか 著

扶桑社

毎日新聞 2021/01/30

2020:12./ 169p

978-4-594-08645-9

本体 ¥990〔税込〕



アンダークラス 2030〜置き去りにされる「氷河期世代」〜

橋本 健二 著

毎日新聞出版

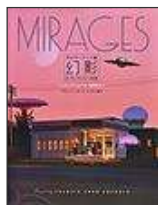
非正規雇用で所得が低い階級「アンダークラス」は現在 1200 万人。その多くを占めるのが氷河期世代。もはや自助努力では這い上がれない「時代の犠牲者」を救えるか？ 階級構造研究の第一人者が、驚愕の未来を警告する。

毎日新聞 2021/01/30

2020:10./ 285p

978-4-620-32656-6

本体 ¥1,540〔税込〕



ポスターアート集 幻影〜ローラン・デュリュウの世界〜

ローラン・デュリュウ 著

グラフィック社

ベルギーのイラストレーター、ローラン・デュリュウのこれまでのポスター・アート創作の歩みを展望できる作品集。「ジョーズ」「めまい」など代名詞といえる作品群のほか、未発表作品も多数収録。

毎日新聞 2021/01/30

2021:1./ 225p

978-4-7661-3439-1

本体 ¥4,290〔税込〕





深きより～二十七の聲～

高橋 睦郎 著

思潮社

稗田阿禮、額田王から、蕪村、河竹默阿彌まで、古代から近世にいたる先人の霊をして、その詩心を語らしめる。日本語詩歌との長い歳月を結実させた、空前絶後の試み。＜三島由紀夫＞との交信・対話を付す。

2020:11./ 181p

978-4-7837-3712-4

本体 ¥4,180〔税込〕



毎日新聞 2021/01/30



現代詩の鑑賞

中村 稔 著

青土社

戦後詩から現代詩に至る詩人たちの青春と成熟を読む、現代詩入門の書。戦後詩を生きた詩人が、鮎川信夫、関根弘、石垣りん、谷川俊太郎、井坂洋子、小池昌代らの作品をとりあげ、透徹した批判的精神で読み解く。

2020:11./ 387p

978-4-7917-7333-6

本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2021/01/30